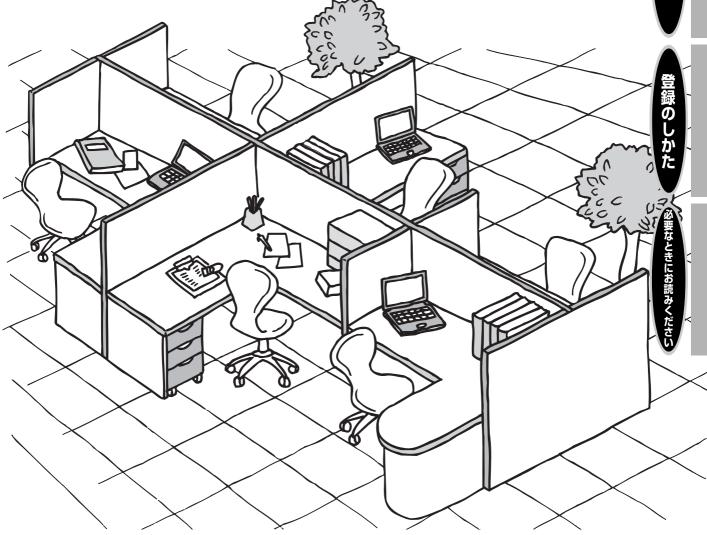
Panasonic

取扱説明書
インターネットFAXユニット編

品番 UE-404095

Panafax A800
A700

お使いになる前に
使い方
登録のしかた
必要なときにお読みください

このたびはインターネット FAX ユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■**特に取扱説明書ファクス編の「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。** お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

上手に使って上手に節電

はじめに

本取扱説明書は、インターネット FAX ユニットについて説明しております。
安全に正しくお使いいただくために、取扱説明書ファクス編と合わせてご覧ください。
また本書は従来の一般加入回線等での通信に加え、LAN システムを使用したインターネット通信が可能なインターネットファクスについての取扱説明書です。

※ネットワークとの接続および使用に際しては、本製品以外にソフトウェアおよび LAN 伝送路用品が必要です。

本書の説明は、Microsoft® Windows® 2000 日本語版、Windows® XP 日本語版、Windows Server® 2003/2003 R2 日本語版、Windows Vista® 日本語版、Windows Server® 2008/2008 R2 日本語版、Windows® 7 日本語版を前提として表記しています。
本書中で使用している次の用語は、各社の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Outlook、Excel : 米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

■各サービスについて

発信者番号通知・ダイヤルインサービスはあらかじめ NTT との契約が必要です。本サービスの詳細につきましては NTT にお問い合わせください。
NCC 回線をご利用の場合は、NCC 各社でサービス内容が異なります。発信者番号通知・ダイヤルインサービスの詳細につきましてはご契約の NCC にお問い合わせください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

もくじ

インターネットに接続するための事前準備

本機をネットワークに接続される前に、この章をご覧いただくことにより各機能についてのご理解がいっそう深まります。

本機は、10BASE-T/100BASE-TX イーサネット LAN（ローカルエリアネットワーク）へ接続されると以下のような事ができます。

- ● ドキュメント情報をインターネット電子メールで送信
- ● インターネット電子メールを自動的に受信し印刷する
- ● ファクスもしくは電子メールで受信したものを、自動的にあらかじめ設定した電子メールアドレスもしくは通常のファクスへ転送
- ● G3 ファクスから受信したものを、自動的に ITU-T のサブアドレスを使って、発信者の指定した電子メールアドレスもしくはファクスへルーティングする（ルーティングに関する 50 ページを参照）
- ● ファクスから受信したものを、自動的にファクスの発信元ＩＤを使って、発信者の指定した電子メールアドレスもしくはファクスへルーティングする（ルーティングに関する50 ページを参照）
- ● インターネット電子メールを通常のファクス送信としてファクスへ中継（中継送信に関する 55 ページを参照）
- ● ネットワークスキャナー、プリンターとしての利用

ここに記載した機能をご利用になるには、本機をネットワークへ正しく設定する必要があります。現在のネットワーク設定値については、お客様のネットワーク管理者へお問い合わせ願います。

この章の 8 ページに添付されている事前設定調査表をコピーの上、MAC (Media Access Control) アドレスを記入した後に、表にある残りの項目を埋めていただきますようネットワーク管理者へご依頼願います。本機の MAC アドレスは、自局情報リストに印刷されます。

自局情報リストの印刷：

ファンクション ○ ⑥ ⑤ セット [管理者パスワードを入力] セット

本機は、SMTP 転送もしくは POP クライアントによる受信のいずれかが設定できます。また設定により、ご利用になれる機能が以下の表のとおり異なります。

機能	SMTP 転送	POP クライアント
ドキュメント情報をインターネット電子メールで送信	○	○
インターネット電子メールの自動受信と印刷	○	○
インターネット電子メールの手動受信と印刷	×	○
受信したファクスもしくは電子メールの自動転送	○	○
ファクスの自動振り分け転送（ルーティング）	○	○
インターネット電子メールからファクスへの中継	○	×
インターネットファクスのメッセージをダイレクト SMTP プロトコルにより送受信	○	×

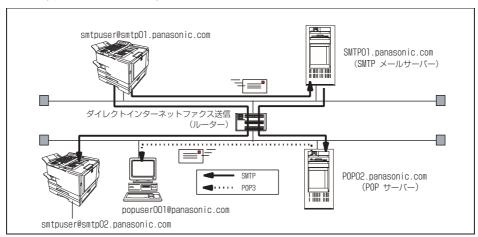
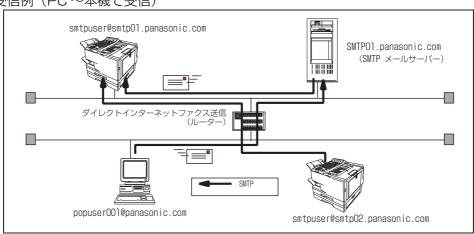
お知らせ

- ● SMTP 転送機能をご利用になるには、本機の電子メールアドレスにお客様のドメインとホスト名を含まなければなりません。ホスト名はお客様のネットワークの DNS(Domain Name System) サーバーへ登録されていなければなりません。
- ● 自動的に SMTP 転送もしくは POP 受信を実行します。POP クライアントとしての設定時には、手動操作による受信ができます。
- ● 本機が受信、印刷、転送、中継可能な電子メールは、テキスト本文と TIFF-F 形式画像の添付ファイルのみです。
- ● DHCP はサポートしていません。

■SMTP 転送としての設定

本機を SMTP 転送設定でご利用頂くには、次のようなネットワークパラメーターの設定が必要です。

- DNS サーバーの IP アドレス (DNS が利用できない場合は、お知らせを参照)
- 本機の IP アドレス
- 本機のサブネットマスク
- SMTP メールサーバー名もしくは IP アドレス
- デフォルトルーターの IP アドレス
- 本機の電子メールアドレス（お知らせを参照）
- ホスト名
- SMTP 認証名（SMTP サーバーに認証が必要なとき）
- SMTP 認証パスワード（SMTP サーバーに認証が必要なとき）

電子メール送信例（本機～ PC へ送信）

電子メール受信例（PC ～本機で受信）

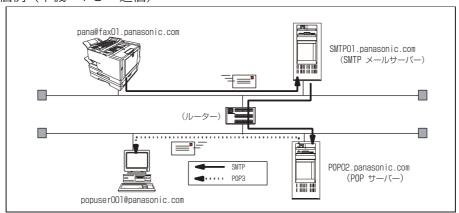
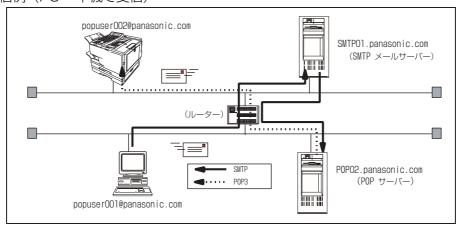
お知らせ

- SMTP 転送機能をご利用になるには、本機の電子メールアドレスにお客様のドメインとホスト名を含まなければなりません。ホスト名はお客様のネットワークの DNS(Domain Name System) サーバーへ登録されていなければなりません。
  登録は「○○○ @ ホスト名 . ドメイン名」の形式で行います。
  例：smtpuser@smtp01.panasonic.com
- お買い上げ時の設定では、DNS サーバーの IP アドレスと SMTP サーバー名が必要です。DNS サーバーがご利用になれない場合は、システム登録の 「161 DNS 設定」を "1: なし " へ変更してください。（☛114 ページ）
  その後 SMTP サーバーの IP アドレスを入力することができるようになります。
- DHCP はサポートしていません。

■POP クライアントとしての設定

本機を POP クライアントとして利用いただくには、次のようなネットワークパラメーターの設定が必要です。

- DNS サーバーの IP アドレス (DNS が利用できない場合は、お知らせを参照)
- 本機の IP アドレス
- 本機のサブネットマスク
- SMTP メールサーバー名もしくは IP アドレス
- デフォルトルーターの IP アドレス
- POP サーバー名もしくは IP アドレス
- POP ユーザーアカウント名
- POP パスワード
- 本機の電子メールアドレス（お知らせを参照）

電子メール送信例（本機～ PC へ送信）

電子メール受信例（PC ～本機で受信）

お知らせ

- 電子メールアドレス形式は、通常の電子メールアドレスと同じです。
  登録は「POP ユーザー名 @ ドメイン名」の形式で行います。
  例：popuser002@panasonic.com
- お買い上げ時の設定では、DNS サーバーの IP アドレスと POP サーバー名が必要です。DNS サーバーがご利用になれない場合は、システム登録の 「161 DNS 設定」を "1: なし " へ変更してください。（☛ 114 ページ)
  その後 POP サーバーの IP アドレスを入力することができるようになります。

LAN 経由で全体のシステムが正しく動作するために、確定情報と追加パラメーターを設定しなければなりません。ネットワーク管理者から必要な情報を得た上で LAN へ接続してください。

ユーザー情報	
社名	
住所	
部署名	
電話番号	ファクス番号

自局情報リスト		
(1) 自局 IP アドレス：		
(2) サブネットマスク：		
(3) メールサーバー名：	もしくは	メールサーバー IP アドレス：
(4) デフォルトルーター IP アドレス：		
(5) 自局メールアドレス：		
(6) DNS サーバー IP アドレス：		
(7) POP サーバー名：	もしくは	POP サーバー IP アドレス：
(8) POP ユーザー名：		
(9) POP パスワード：		
(10) ホスト名：		
(11) デフォルトサブジェクト：		
(12) デフォルトドメイン：		
(13) リモートパスワード：		
(14) 中継用パスワード：		
1.		
2.		
3.		
4.		
5.		
(15) 管理者メールアドレス：		
(16) ドメイン名（中継許可）：		
1.	6.	
2.	7.	
3.	8.	
4.	9.	
5.	10.	

お知らせ

● (1) ～ (10) はネットワーク管理者から提供される情報です。

● お買い上げ時の状態では、SMTP と POP サーバーを IP アドレスで指定することができません。（ドメイン形式のアドレス指定のみ可能です）
DNS サーバーがご利用になれない場合は、システム登録の「161 DNS 設定」を "1: なし " に変更してください。（☞ 114 ページ）SMTP と POP サーバーの IP アドレスを入力できるようになります。

● Mac アドレスは、自局情報リストに印刷されます。

自局情報リストの印刷：

ファンクション ⑥ ⑤ セット [管理者パスワードを入力] セット

● DHCP はサポートしていません。

■記載内容説明

(1) 自局 IP アドレス：	インターネットプロトコルアドレス
(2) サブネットマスク：	サブネットマスク番号
(3) メールサーバー名もしくは メールサーバー IP アドレス：	メールサーバー名（60 桁まで)、メールサーバーの IP アドレス、ポート番号
(4) デフォルトルーター IP アドレス：	デフォルトルーターの IP アドレス
(5) 自局メールアドレス：	60 桁まで
(6) DNS サーバー IP アドレス：	DNS サーバーの IP アドレス
(7) POP サーバー名もしくは POP サーバー IP アドレス：	POP サーバー名 (60 桁まで)、POP サーバーの IP アドレス、ポート番号
(8) POP ユーザー名：	40 桁まで
(9) POP パスワード：	10 桁まで
(10)ホスト名：	60 桁まで
(11)デフォルトサブジェクト：	件名 (Subject) の部分に自動挿入される内容（20 文字まで）
(12)デフォルトドメイン：	電子メールアドレス省略時の付加ドメイン名（50 桁まで） 例：mgcs.co.jp（@ は自動で付加されます）
(13)リモートパスワード：	電子メールを使ったリモート操作によるインターネットパラメーター、宛先登録、通信管理レポートの取得に関するパスワード（10 桁）
(14)中継用パスワード：	中継送信時の中継許可用パスワード（10 文字まで）
(15)管理者メールアドレス：	中継送信状況モニターと通信費用管理として利用（60 桁まで）
(16)ドメイン名（中継許可）：	中継許可ドメイン（30 桁まで）

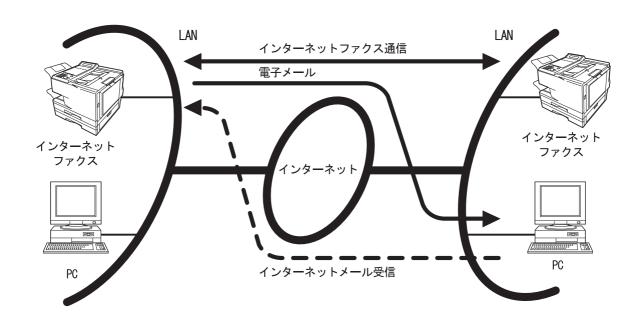
インターネット通信について

インターネット通信の基本機能

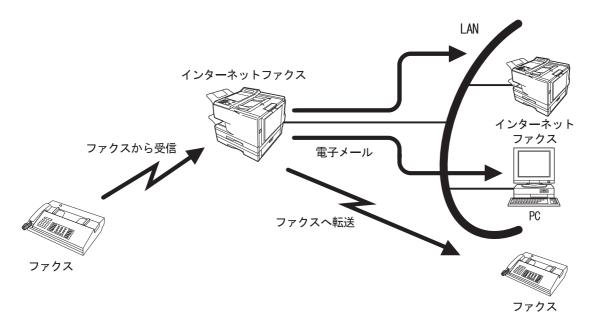
■インターネットファクス通信（ ☞ 20 ページ）

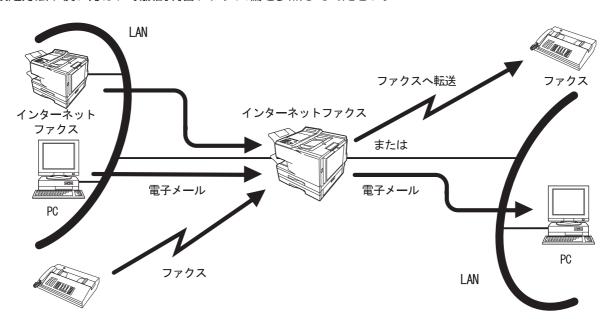
原稿をインターネットファクスから相手先の PC、あるいはインターネットファクスへ送信する機能です。
インターネットファクスからの簡単操作で相手先のメールアドレスへ送信できます。
原稿は、電子メールの TIFF-F 形式の添付ファイルとして相手先の PC に送信されます。PC 側のメールソフトが MIME 形式に対応していない場合は、TIFF-F 形式の添付ファイルを使用できないため相手先へ正しく届きません。また、相手先のメールサーバーによっては正しく届かなかったことを送信側へ知らせる「エラーメール」（☞33 ページ）が返信されない場合もありますので、PC へ送信する場合は、相手先の PC に TIFF-F ファイルを表示できる環境が整っているか確認した上で操作してください。

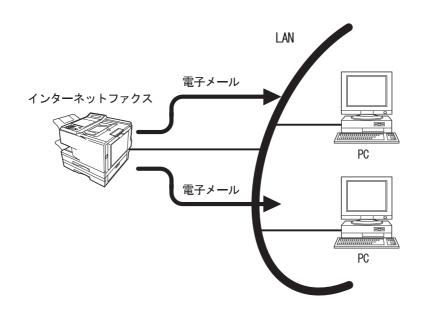
■インターネットメール受信（ ☞ 43 ページ）

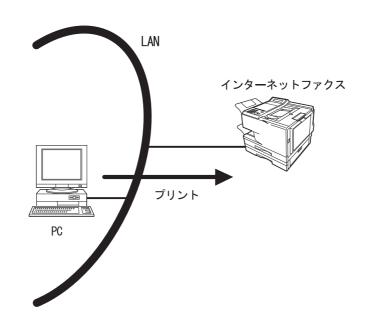
PC からインターネットファクスに送られてきた電子メールを自動プリントする機能です。ただし、インターネットファクスがサポートしている TIFF-F 形式以外の添付ファイルが送られてきた場合は、エラーメッセージをプリントし、プリントできなかったことを知らせます。

■ルーティング（☞49 ページ、50 ページ、109 ページ）

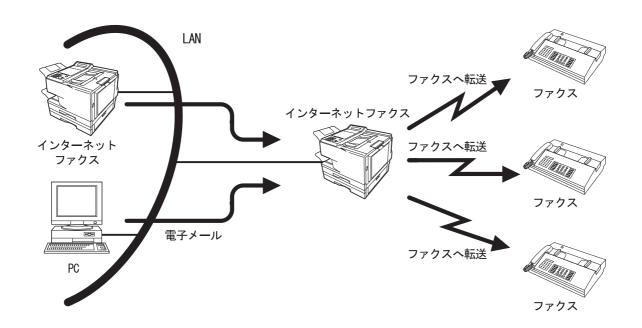
（☞49 ページ、50 ページ、109 ページ）

ルーティングとは特定の G3 ファクスから受信した場合に、本機であらかじめ設定した宛先（LAN に接続した PC やインターネットファクス、または他の G3 ファクス）に転送する機能です。
送信機の G3 ファクスが F コードの通信の指示機能が利用できるファクスの場合、登録したサブアドレスを指示することで通信ごとに宛先を選択して送信することができます。
Fコード通信（サブアドレス）に対応していないファクスの場合は、数字ID、発番号またはダイヤルインルーティング等を登録しておくことで送信機ごとに個別の宛先に送信することができます。
利用できるファクスに関して、ご不明な場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

■メモリー転送

インターネットファクスのメモリーに受信した電子メールやファクスを、あらかじめ設定した宛先（ファクスや PC）へ転送する機能です。
メモリー転送をする際には、本機が一度受信をしてからあらためて転送先に送信しますので、メモリー転送できる電子メールの添付ファイルは TIFF-F 形式のみとなります。
設定方法や使い方は、取扱説明書ファクス編を参照してください。

■ネットワークスキャナー（☞53 ページ）

インターネットファクスをスキャナーとしてご利用になれます。
インターネット通信を利用して、原稿をインターネットファクスから PC へメール送信することにより、原稿の画像イメージを PC 側で見ることができます。

■ネットワークプリンター（☞54 ページ）

インターネットファクスをプリンターとしてご利用になれます。
PC の各種アプリケーションで作成した書類を PC からの操作により、LAN に接続したインターネットファクスへプリントすることができます。ただし、ネットワークプリンター機能を利用するためには、ホームページからソフトウェア（プリンタードライバーおよび LPR）をダウンロードして PC にインストールする必要があります。（☞43 ページ）
プリンタードライバーのインストールの方法や操作方法については、ダウンロードしたホームページを参照してください。（☞43 ページ）

■中継同報（☛55 ページ）

LAN に接続したインターネットファクスや PC から送信した電子メールを、中継同報機能を持ったインターネットファクスを経由して、一般回線に接続された複数のファクスへ同報送信することができます。
電子メールには、TIFF-F 形式のファイルを添付することができます。
また、表計算ソフトなどの各種アプリケーションのデータファイルを TIFF-F 形式のファイルにするには、ホームページからソフトウェアをダウンロードして PC にインストールする必要があります。
ソフトウェアのインストールの方法や操作方法については、ダウンロードしたホームページを参照してください。（☛43 ページ）

■SMTP 認証

世界規模の電子的なインフラストラクチャーとしてインターネットが登場して以来、通信機器市場は飛躍的に伸びています。しかし、インターネットのセキュリティーを高める技術は、まだ確固としたものが出ていません。この理由はいくつかあります。

1. インターネットメールはマルチホップ（雑多なプロトコル、雑多なデバイス）の構造体であり、通信路をベースとしたセキュリティーは一般的に実現が困難である
2. インターネットファクスの標準規格が推奨する独占的な技術がない

システムの改善と健全化の標準的なソリューションとして今提供されているのは、暗号技術ベースの認証システムです。この認証技術は、SASL（Simple Authentication and Security Layer）のような認証機構に統合されています。

インターネットのサービスプロバイダー (ISP) は、多くが何らかの認証方式を採用しています。
本機が提供する認証オプションは、SMTP 認証拡張サービス (SMTP AUTH) です。

SMTP 認証拡張サービス (SMTP AUTH) ：接続時にアカウント名とパスワードによる認証が行われるため、特定ユーザー以外の送信や中継を防止できる方法

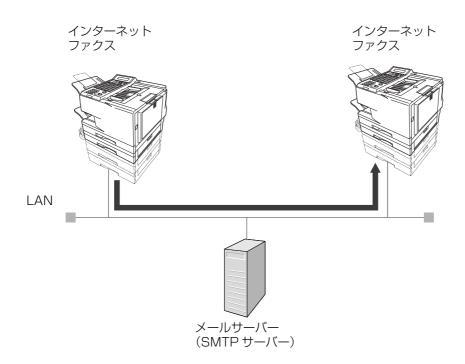
■ダイレクトSMTP（ダイレクトインターネットファクス送信）

通常、電子メールはメールサーバー（SMTPサーバー）がSMTP（Simple Mail Transfer Protocol）によってやりとりしています。

企業などのイントラネットでは、ファイアウォールの負担を考慮して、添付ファイルを持たない電子メールとホームページ閲覧だけが許可されていることがあります。

このような場合に、ダイレクトSMTPを使うことで、メールサーバー（SMTPサーバー）への負担を軽減できます。

ダイレクトSMTPは、メールサーバー（SMTPサーバー）を通さずに直接インターネットファクス間で文書を交換する機能です。この機能を使うには、IPアドレスが常に一定に保たれている必要があります。本機のドメイン名などの情報がDNSサーバーに適切に登録されていなければなりません。

- ダイレクトSMTPを使う場合は、システムの登録の「172 ダイレクトSMTP送信」を“あり”に設定します。
- ダイレクトSMTPの送信先は、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録しておく必要があります。システムの登録の「172 ダイレクトSMTP送信」を“あり”に設定すると、ワンタッチダイヤル（01～50、F1～F10）や短縮ダイヤル（000～999）の登録時に「ダイレクトSMTP登録しますか」というメッセージが表示されますので、“する”を選択してください。
- IPアドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- DNSに登録されていない相手は、@以下にIPアドレスで指定します。
  （例） fax@192.168.1.1

インターネット通信と一般回線通信との機能の違い

本機で使用できる機能は、インターネット通信の場合と一般回線通信の場合とで異なります。
本書では、インターネット通信と一般回線通信のうち「インターネット通信」について記載しています。
「一般回線通信」については、取扱説明書ファクス編を参照してください。
次にインターネット通信時に使用できる機能と一般回線通信時に使用できる機能の一覧を示します。
●：インターネット通信のみの機能です。
○：インターネット通信と一般回線通信の操作が同じ機能です。
△：インターネット通信と一般回線通信の操作が異なる機能です。それぞれの編を参照してください。
▲：一般回線通信のみの機能です。

	機能名称	インターネット通信時	一般回線通信時
基本的な使い方	原稿について	○	○
	原稿セットのしかた	○	○
	送信のしかた	△	△
	受信のしかた	△	△
	コピーのしかた	○	○
	ダイヤルのしかた	－	▲
	電話の使い方（オプション）	－	▲
便利な使い方	複数宛先送信	○	○
	プログラム通信	△	△
	ルーティング	○	○
	通信管理レポート送信	●	－
	送達確認	●	－
	メモリー転送	○	○
	ネットワークスキャナー	●	－
	ネットワークプリンター	●	－
	中継同報	●	－
	節電タイマー	○	○
	通信予約の確認・取り消し	○	○
	順次同報送信	○	○
	優先通信	－	▲
	ポーリング受信	－	▲
登録のしかた	メールアドレスの登録	●	－
	中継同報の登録	△	△
	プログラムの登録	△	△
	文字入力のしかた	△	△
	自局情報の登録	○	○
	システム登録	○	○
	ダイヤル番号の登録	－	▲

インターネット通信における注意点

LAN システムとの接続による通信は、基本的に電子メールと同様で、一般回線用のファクスによる通信とは異なります。
インターネット通信をする上で、注意しなければならないことについて説明します。

■正常に送信されましたか？

・インターネット通信は LAN 経由でのメールサーバーとの通信となり、直接相手との通信はできません。
　したがって、何らかの原因で送信できなかった場合だけ、メールサーバーからエラーメールが返送されます。（☛33 ページ「エラーメール」）
・相手先の場所、インターネットなどの回線の混み具合、LAN システムの構成にもよりますが、エラーメールが返送されるまで長い時間がかかることがあります。
　（通常は 20 ～ 30 分ぐらいと思われます。）
・エラーメールが何らかの原因で返送されて来ない場合もあります。重要な書類、緊急を要する書類、またそれに準じる書類を送信される場合には、送信後に必ず電話で確認願います。
　またインターネット経由の場合には秘匿性が低いので、重要な書類は、一般回線のご利用をお勧めします。
・送信する相手のメールシステムが MIME に対応していない場合、原稿を相手先に正しく送信することができません。また、相手のメールサーバーによってはエラーメールが返送されない場合があります。
・原稿枚数が多い場合やイメージデータ量が多いと、送信できない場合があります。

■読み取りモードの文字サイズ

・読み取りモードの文字サイズは、PC への送信を考慮して、お買い上げ時の設定を『小さい』にしてあります。
　この設定は、使用する原稿に合わせて変更することもできます。

■インターネットメール受信

・本機は、PC からの電子メールを受信しますが、受信したデータの内、英数字、ひらがな、かたかなと第 1、2 水準の漢字が記録可能です。
・受信したフォントや文字の大きさは変更できません。
・受信データを全角文字で約 60 桁、約 77 行でページ印字で出力します。

各部の名前と働き

正面・右側面図

左側面・背面図

電源
電源スイッチ
電源コード差し込み口
アース端子
10/100BASE-TX
LINK
ACTIVITY
LAN 接続用ジャック
(10BASE-T/100BASE-TX)
LAN ケーブル (10BASE-T/
100BASE-TX ケーブル）を接続
します。カチッと音がするまで差
し込んでください。（LAN ケーブ
ルは付属されていません。）
[EIA 568A CAT.5] に準拠した
ケーブルをご準備願います。
受話器
受話器置き台コード
差し込み口 (オプション）
回線
内線
内線用モジュラージャック
回線コードを接続します。
外部電話機
外部電話機用モジュラー
ジャック
外部電話機を接続します。
外線
回線
回線用モジュラージャック
回線コードを接続します。
IP 電話を使う場合は、各プ
ロバイダーの VoIP 端末の
取扱説明書を参照し、接続
します。

各種ボタン

①
ディスプレイ
日、時刻、宛先、電話番号、装置の状態などを表示します。

②
ファンクション ボタン
各種の機能を選ぶときや、登録するときに押します。

電話帳 ボタン（☞ 28 ページ）
電話帳検索するときに押します。

③
再ダイヤル／ポーズ ボタン
再ダイヤルするとき、または、番号の間に空白時間を入れるときに押します。

短縮 ボタン（☞ 22 ページ）
短縮ダイヤルするときに押します。

トーン ボタン
回転ダイヤル式回線でプッシュホン信号を使いたいときに押します。

④
テンキー ボタン
ダイヤルするときや、各種の機能を選ぶときに押します。

回転記録 ボタン
回転記録の設定を手動で切り替えるときに押します。

⑤
メモリー ボタン
原稿をメモリーに読み込んでから送信するときにランプを点灯させます。

濃度 ボタン
原稿の濃さに合わせて選びます。

文字サイズ ボタン
原稿の文字の大きさに合わせて選びます。

ハーフトーン ボタン
ハーフトーンを選ぶときに押します。

済スタンプ ボタン
済スタンプを選ぶときに押します。

⑥
インターネット ボタン（☞ 20 ページ）
インターネットと一般回線を切り替えるときに押します。

⑦
スキャナー ボタン（☞ 53 ページ）
スキャナーとしてご利用するときに押します。

IPFAX A3 送信 ボタン（☞ 30 ページ）
LANで送信する原稿サイズを切り替えます。

F コード ボタン
Fコード（サブアドレス）を入力するときに押します。また、Fコード通信をするときに押します。（☞ 取扱説明書ファクス編を参照してください）

⑧
ワンタッチダイヤル ボタン（☞ 24 ページ）
ワンタッチダイヤルするときに押します。
また、プログラムに登録した通信をするときに押します。メールアドレスや宛先名を入力するときに押します。

⑨
クリアー ボタン
入力した文字や数字を訂正するときに押します。

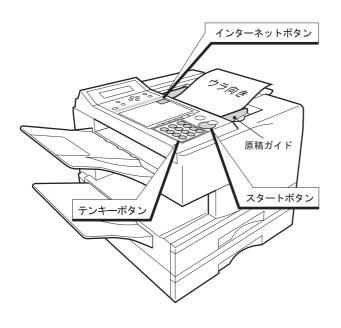
セット ボタン
選択した内容を確定するときに押します。

⑩
ストップ ボタン
送信やコピー、登録などを途中でやめるとき、または、アラーム音を止めるときに押します。

コピー ボタン
コピーするときに押します。

スタート ボタン
ファクスの送信や受信をするときに押します。

お知らせ

● 短縮ダイヤルの宛先名や、自局情報の登録などの文字入力をするときは、中にはさまれている宛先シートを取り外して、宛先シートの下にある文字シートを使って入力します。

直接ダイヤルで送る

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて、読み取りモードを設定できます。（☛取扱説明書ファクス編を参照してください）

```
7月 1日（金）17:15 00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 [インターネット]を押して、メールアドレスを入力する（最大60桁）

・ワンタッチボタンとテンキーから英数字を入力してください。

```
メモリー送信 宛先数:0000
abc@panasonic.com_
インターネット
```

3 [スタート]を押す

・メールアドレスの再入力を促すメッセージが表示されます。

```
再度入力してください
_
インターネット
```

4 もう一度メールアドレスを入力して、[スタート]を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

・手順2とメールアドレスが一致しない場合は、手順2に戻ります。

```
メモリー送信 宛先数:0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください
```

5 ∨または∧で宛先を確認する

```
メモリー送信 宛先数:0001
abc@panafax.com
インターネット
```

↓

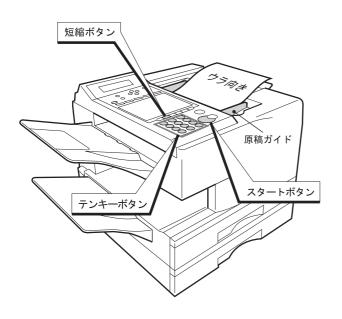
```
メモリー送信 宛先数:0001
宛先間違いはありませんか？
はい：スタート いいえ：クリアー
```

・宛先確認をした場合だけ送信できます。

6 [スタート]を押す

・原稿の読み取りが開始されます。

お知らせ

- お買い上げ時の設定では、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止するため、常にメールアドレスの再入力（ダイヤル再入力）、および宛先確認をしてから送信するように設定されています。（☛36 ページ）
- システム登録の「136　直接ダイヤル制限」（☛取扱説明書ファクス編）が“あり”に設定されている場合、直接ダイヤルを禁止できます。
- システム登録の「137　直接ダイヤル再入力」（☛取扱説明書ファクス編）が“なし”に設定されている場合、手順 3 のメールアドレスの再入力画面は表示されません。
- 宛先をまちがえたときは、クリアー を押して再指定してください。
- 送信を途中でやめるときは、ストップ を押したあとに [1]（はい）を押してください。
- 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。（☛33 ページ）
- システム登録の「145 FROM 選択機能」が“あり”のときは手順 6 で スタート を押したあと、FROM 選択画面になります。
  FROM（発信元）選択後 スタート を押すと、原稿の読み取りが開始されます。お買い上げ時の設定は“なし”になっています。（☛42 ページ）

短縮ダイヤルで送る

あらかじめメールアドレスを短縮ダイヤルに登録しておいてください（☞74 ページ)。短縮ダイヤルは 000 ～ 999 までの任意の 1000 か所 (UF-A700 は 200 か所）をお使いになれます。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて、読み取りモードを設定できます。（☞取扱説明書ファクス編を参照してください）

```
 7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 短縮 を押す

```
メモリー送信       宛先数:0000

短縮：＿  （3桁）
```

3 短縮番号(000～999)を選ぶ

・テンキーボタンで短縮番号を選びます。
例：「001」

```
メモリー送信       宛先数:0001
Panasonic
短縮：001（3桁）
```

4 スタート を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

```
メモリー送信       宛先数:0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください
```

5 ∨または∧で宛先を確認する

```
メモリー送信       宛先数:0001
Panasonic
短縮：001（3桁）
```

↓

```
メモリー送信       宛先数: 0001
宛先間違いはありませんか？
はい：スタート      いいえ：クリアー
```

・宛先確認をした場合だけ送信できます。

6 スタート を押す

・原稿の読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

```
メモリー通信       受付 No.001
蓄積頁：01           01%
Panasonic
```

お知らせ

- お買い上げ時の設定では、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止するため，常に宛先確認をしてから送信するように設定されています。（☛取扱説明書ファクス編を参照してください）
- 宛先をまちがえたときは、(ストップ)を押してください。
- 送信を途中でやめるときは、(ストップ)を押したあとに [1]（はい）を押してください。
- 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。（☛33 ページ）
- システム登録の「145 FROM 選択機能」が“あり”のときは手順 6 で(スタート)を押したあと、FROM 選択画面になります。
  FROM（発信元）選択後(スタート)を押すと、原稿の読み取りが開始されます。
  お買い上げ時の設定は“なし”になっています。（☛42 ページ）

ワンタッチダイヤルで送る

ワンタッチボタン

原稿ガイド

スタートボタン

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて、読み取りモードを設定できます。（☛取扱説明書ファクス編を参照してください）

```
  7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 ワンタッチボタン（01～50、F1～F10）を押す

```
メモリー送信        宛先数: 0001
東京本社
ワンタッチ：０１
```

3 [スタート] を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

```
メモリー送信        宛先数: 0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください
```

4 ∨または∧で宛先を確認する

```
メモリー送信        宛先数: 0001
東京本社
ワンタッチ：０１
```

↓

```
メモリー送信        宛先数: 0001
宛先間違いはありませんか？
はい：ｽﾀｰﾄ          いいえ：ｸﾘｱｰ
```

・宛先確認をした場合だけ送信できます。

5 [スタート] を押す

・原稿の読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

```
メモリー通信        受付 No.001
蓄積頁 : 01               01%
東京本社
```

お知らせ

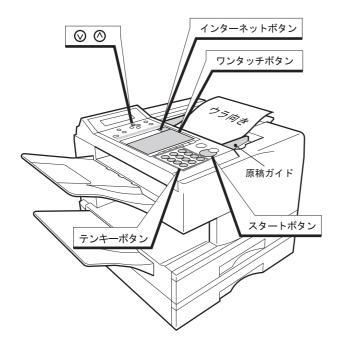
● お買い上げ時の設定では、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止するため，常に宛先確認をしてから送信するように設定されています。（☛取扱説明書ファクス編を参照してください）

● 宛先をまちがえたときは、[ストップ] を押してください。

● 送信を途中でやめるときは、[ストップ] を押したあとに [1]（はい）を押してください。

● 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。

（☛33 ページ）

- ファンクション登録ボタン [F1] ～ [F10] にメールアドレスを登録して（☛72 ページ）おけば、ワンタッチボタンと同じようにして送ることができます。
- 複数の宛先が登録されているワンタッチボタン＋（スタート）を選ぶと、自動的に順次同報送信を始めます。
- システム登録の「145 FROM 選択機能」が“あり”のときは手順 5 で（スタート）を押したあと、FROM 選択画面になります。
  FROM（発信元）選択後（スタート）を押すと、原稿の読み取りが開始されます。
  お買い上げ時の設定は“なし”になっています。（☛42 ページ）

メールアドレスを自動検索して送る

あらかじめ短縮ダイヤルやワンタッチダイヤルにメールアドレスを登録しておけば、メールアドレスを最後まで入力しなくても、入力の途中で目的のメールアドレスを検索して送信することができます。

1 原稿をセットする

・原稿に合わせて、読み取りモードを設定できます。（☞取扱説明書ファクス編を参照してください）

```
 7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 [インターネット] を押す

```
メモリー送信      宛先数:0000
_
              インターネット
```

3 検索するメールアドレスを入力する（最大 20 桁）

・ワンタッチボタンとテンキーから英数字を入力してください。
・入力された文字と一致する短縮ダイヤルまたはワンタッチダイヤルに登録された宛先が下段に表示されます。

```
メモリー送信      宛先数:0000
abc_
abc@panafax.com   インターネット
```

4 宛先を選ぶ

・ⓥまたはⓐを押して、宛先を選びます。

```
メモリー送信      宛先数:0000
abc_
abc@panafax.com   インターネット
```

5 目的の候補が検索されたら

を押す

・メールアドレスの再入力を促すメッセージが表示されます。

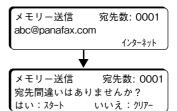
```
再度入力してください
_
              インターネット
```

6 もう一度メールアドレスを入力して、を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

・手順２とメールアドレスが一致しない場合は、手順２に戻ります。

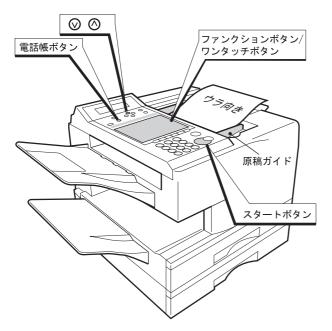
メモリー送信　　　宛先数: 0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください

7 ∨または∧で宛先を確認する

・宛先確認をした場合だけ送信できます。

8 を押す

・宛先確認をした場合だけ送信できます
・原稿の読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

お知らせ

- お買い上げ時の設定では、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止するため，常に宛先確認をしてから送信するように設定されています。（☛取扱説明書ファクス編を参照してください）
- 手順 3 で自動宛先検索を解除するときは、もう一度［F5 インターネット］を押してください。
- 宛先をまちがえたときは、［クリアー］を押して再指定してください。
- 送信を途中でやめるときは、（ストップ）を押したあとに［1］（はい）を押してください。
- 正常に送信できなかった場合は、メールサーバーからエラーメールが返信されます。（☛ 33 ページ）
- 自動宛先検索機能は、短縮ダイヤル・ワンタッチダイヤルから宛先を検索しますので、あらかじめ短縮ダイヤル・ワンタッチダイヤルの登録を行ってからご使用ください。
- 入力文字が 20 文字を越えると、自動宛先検索機能は解除されます。
- 自動宛先検索機能により下段に宛先を表示中に、［セット］または（スタート）を押しますと下段表示中の短縮ダイヤル・ワンタッチダイヤルを指定したときと同様の通信となります。
- 目的のメールアドレスがない場合は、メールアドレスを直接指定してください。
- ダイヤル中や通信中でも、次の通信を予約できます。手順 1 からの操作をしてください。
- システム登録の「145 FROM 選択機能」が“あり”のときは手順８で（スタート）を押したあと、FROM 選択画面になります。
  FROM（発信元）選択後（スタート）を押すと、原稿の読み取りが開始されます。
  お買い上げ時の設定は“なし”になっています。（☛42 ページ）

電話帳ダイヤルで送る

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録(☛72, 74ページ)してある宛先を電話帳ボタンを使い、宛先名で探してダイヤルできます。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて、読み取りモードを設定できます。(☛取扱説明書ファクス編を参照してください)

```
 7月 1日（金）17:15 00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 電話帳 を押す

```
 ＊ 電話帳 ＊
検索文字（あ〜わ）を指定して
ください
```

3 検索文字を選ぶ

・ファンクション登録ボタンとワンタッチボタンを使って検索文字を選びます。
・ファンクション F1 〜 F10 ：あ〜こ
　ワンタッチ 01 〜 38 ：さ〜ん

```
[ と ]  短縮：012
宛先名：東北支店
```

4 ∨ ∧ を押して宛先を選ぶ

例：「東京本社」

```
[ と ]  ワンタッチ：01
宛先名：東京本社
```

5 を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

```
メモリー送信  宛先数:0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください
```

6 ∨または∧で宛先を確認し、スタート を押す

```
メモリー送信  宛先数:0001
東京本社
ワンタッチ：０１
```

↓

```
メモリー送信  宛先数: 0001
宛先間違いはありませんか？
はい：スタート  いいえ：クリアー
```

・宛先確認をした場合だけ送信できます
・原稿の読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

お知らせ

- お買い上げ時の設定では、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止するため，常に宛先確認をしてから送信するように設定されています。（☛取扱説明書ファクス編を参照してください）
- 宛先をまちがえたときは、ストップを押してください。
- 送信を途中でやめるときは、ストップを押したあとに [1]（はい）を押してください。
- システム登録の「145 FROM 選択機能」が“あり”のときは手順 6 でスタートを押したあと、FROM 選択画面になります。
  FROM（発信元）選択後スタートを押すと、原稿の読み取りが開始されます。
  お買い上げ時の設定は“なし”になっています。（☛42 ページ）

OF7 IPFAX A3 送信 ボタンについて

LAN で A3 原稿、B4 原稿を送る場合、あらかじめ相手の能力を決定して、送信原稿サイズを決めておく必要があります。

OF7 IPFAX A3 送信 ボタン 、システム登録「141 LAN 縮小送信」の設定によって、下の表のように動作します。

OF7 IPFAX A3 送信 ボタン　ＬＥＤ点灯：　読み取った原稿を等倍で送信します。
ＬＥＤ消灯：　A3 原稿は B4 以下に縮小して送信します。
また、システム登録 「141 LAN 縮小送信」の設定に従って縮小して送信します。

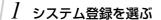
原稿サイズ	送信原稿サイズ		
	IPFAX A3 送信ボタン ＬＥＤ点灯時	IPFAX A3 送信ボタン ＬＥＤ消灯時	
		システム登録「141 LAN 縮小送信」“なし”設定時	システム登録「141 LAN 縮小送信」“あり”設定時
A3	A3	B4	A4
B4	B4	B4	A4
A4	A4	A4	A4

お知らせ

●ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルのみで宛先指定の場合、OF7 IPFAX A3 送信 ボタンの LED の点灯／消灯に関係なく、ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに「送信時 A3 → B4 に縮小する」が登録されている場合は、上の表で IPFAX A3 送信ボタン LED 消灯時と同様に動作します。
●直接ダイヤルを含むワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルによる複数宛先指定でも、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに 1 宛先でも「送信時 A3 → B4 に縮小する」が登録されていた場合は、OF7 IPFAX A3 送信 ボタンの LED の点灯／消灯に関係なく、上の表で IPFAX A3 送信ボタン LED 消灯時と同様に動作します。
●システム登録「141 LAN 縮小送信」の初期設定は“なし”です。

回転送信について

A4 原稿を「←▯」方向へセットしたとき、読み取った画像を 90° 回転して送信し、相手の A4 用紙に等倍送信します。

1 **システム登録を選ぶ**

・ファンクション ⑦ ④ セット

管理者パスワード
パスワードを指定してください
_

2 **管理者パスワードを入力し、セット を押す**

システムの登録　(001-176)
No.　=＿　　　(３桁)

3 **回転送信の設定を選ぶ**

・⓪ ⑦ ⑧ セット

078 回転送信	設定：1
1．なし	2．あり

4 **回転送信を有効にする**

・② セット

5 **ストップ を押す**

・待機状態に戻ります。

回転送信をしない場合

A4 原稿

ウラ向きにして
原稿台に挿入

70% に縮小して送信

相手：A4 用紙

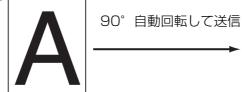
（最大 A4 サイズ、および
回転受信機能がない場合の例です。）

回転送信を有効にした場合

A4 原稿

ウラ向きにして
原稿台に挿入

90° 自動回転して送信

相手：A4 用紙

お知らせ

- 回転送信は、メモリー送信（メモリーランプが点灯）のときにご利用できます。
- お買い上げ時の設定では、システム登録の「078 回転送信」は " あり " になっています。
- インターネット指定をすると、メモリーキーによる切り替えはできません。（点灯のみ）

メモリーがいっぱいになると

メモリー蓄積中にメモリーがいっぱいになった場合は、次のどちらかの操作をしてください。
●1：実行で、完全に蓄積されたページまでを送信します。残りの原稿を送信し直してください。
●2：中止で動作を中止し、メモリーの内容の消去を行います。

1 アラームが鳴る

メモリーが一杯になりました
動作を指定してください
1：実行　　2：中止

2 ①または②を押す

お知らせ

●1 ページ目でメモリーがいっぱいになったときや、メモリーがいっぱいになった最後の原稿は送信することはできません。
●取り消しの選択画面が表示されてから、約 1 分、何も操作しないと、自動的にメモリーの内容が宛先に送信されます。

通信結果レポート

送信などをしたとき、宛先や通信結果をレポートにしてプリントできます。
●システム登録の「012 通信結果レポート」を設定すれば、レポートのプリント方法を選択できます。
（ ☛ 取扱説明書ファクス編を参照してください）
●お買い上げ時は、通信エラーのときだけレポートをプリントします。

01頁
UF-A800 Ver V00000

Panasonic

通信結果レポート

11年07月01日17時24分

＊＊＊ 未通信があります。＊＊＊

受付番号：012
受付日時：07月01日17時15分
完了日時：07月01日17時24分

発信元情報について

送信したとき、発信元に登録（☛ 取扱説明書ファクス編を参照してください）された会社名や部署名を通信時刻などと一緒に相手の用紙の先端にプリントできます。
LAN への複数宛先送信（☛ 36 ページ）では、宛先欄は空白になります。

相手用紙のプリント例

'11年07月01日(金)17時15分　宛先：東京本社 様　　発信：福岡本社　　R:204　P.01／01

メーリングリストを使う

複数の相手メールアドレスを指定するかわりに、あらかじめメールサーバーに登録されたメーリングリストを利用すると、1 回の操作で、簡単に複数宛先送信ができます。
ワンタッチダイヤルなど、各種の方法により宛先を指定できます。

- ●直接ダイヤル（「LAN を使って送信する」☞20 ページ）
- ●ワンタッチダイヤル（☞24 ページ）
- ●短縮ダイヤル（☞22 ページ）
- ●電話帳ダイヤル（☞28 ページ）

メーリングリストのご利用については、システム管理者とよくご相談のうえご使用ください。

エラーメール

インターネットファクス通信では、サーバーへ正常に送信が完了していても、相手先へ正常に送れなかった場合にメールサーバーからエラーメールが返信されてきます。メールサーバーからの情報としてテキストと 1 枚目の画情報がプリントされます。

〈エラーメールのプリント例〉（電子メールアドレスが正しくない場合）

```
Received: by mgcs.co.jp with Internet Mail Service (5.5.2448.0)
 id <01BF31B0>; Fri, 15 July 2011 19:27:03 +0900
Message-ID: <F1FA27F0BB52D311A7560004AC1898F1871C@mgcs.co.jp>
From: システム管理者 <postmaster@mgcs.co.jp>
To: abc@mgcs.co.jp
Subject: 配信不能: IMAGE from Internet FAX
Date: Fri, 15 July 2011 19:27:03 +0900
MIME-Version: 1.0
Content-Type: multipart/mixed;
 boundary="----_=_NextPart_000_01BF31B0.C54D0AB0"

This message is in MIME format. Since your mail reader does not understand
this format, some or all of this message may not be legible.

------_=_NextPart_000_01BF31B0.C54D0AB0
Content-Type: text/plain;
 charset="iso-2022-jp"

Your message

  To:      abc@mgcs.co.jp
  Subject: IMAGE from Internet FAX
  Sent:    Fri, 15 July 2011 19:28:00 +0900

did not reach the following recipient(s):

abc@mgcs.co.jp on Fri, 15 July 2011 19:26:57 +0900
    受信者の名前が認識できません。
 元のメッセージの MTS-ID: c=JP;a= ;p=scs;l=SCSSV29911181036WV0L8TNV
    MSEXCH:IMS:scs:nn-scs:SCSSV2 0 (000C05A6) ?s???E?o?M?O

------_=_NextPart_000_01BF31B0.C54D0AB0
Cont
```

THE SLEREXE COMPANY LIMITED

SAPORS LANE - BOOLE - DORSET - BH 25 8 ER

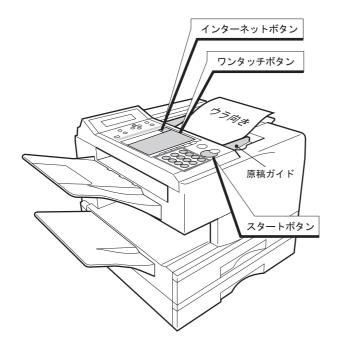
TELEPHONE BOOLE (945 13) 51617 - TELEX 123456

Our Ref. 350/PJC/EAC 18th January, 1972.

Dr. P.N. Cundall,
Mining Surveys Ltd.,
Holroyd Road
Reading,
Berks.

Dear Pete,

Permit me to introduce you to the facility of facsimile transmission.

In facsimile a photocell is caused to perform a raster scan over the subject copy. The variations of print density on the document cause

メールアドレスを組み合わせて送る（ワンタッチチェーン）

ワンタッチチェーンを使えば、ワンタッチボタンの41 ～ 49に登録したメールアドレスを組み合わせてお使いになることができます。

● あらかじめワンタッチボタン（41 ～ 49）にワンタッチチェーン用のメールアドレスを登録してください。（☛72 ページ）

例：「ワンタッチボタン41」に登録されている「@panasonic.com」と直接入力するメールアドレス「pana01」を組み合わせてお使いになる場合。

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて、読み取りモードを設定できます。（☛取扱説明書ファクス編を参照してください）

```
 7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 [F5 インターネット] を押しメールアドレスを入力する

```
メモリー送信      宛先数:0000
pana01_
                インターネット
```

3 組み合わせるワンタッチボタンを押す

例：ワンタッチチェーンとするメールアドレスが登録されている「ワンタッチボタン41」を押す

```
メモリー送信      宛先数:0000
pana01@panasonic.com
_               インターネット
```

4 [スタート] を押す

・メールアドレスの再入力を促すメッセージが表示されます。

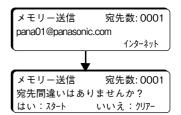
```
再度入力してください
_
                インターネット
```

5 もう一度メールアドレスを入力して、(スタート)を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

・手順２とメールアドレスが一致しない場合は、手順２に戻ります。

メモリー送信　　宛先数: 0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください

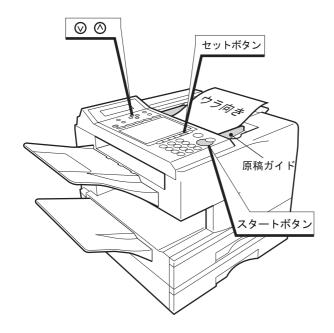
6 ∨または∧で宛先を確認する

・宛先確認をした場合だけ送信できます。

7 を押す

・宛先確認をした場合だけ送信できます
・原稿の読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

お知らせ

● 途中でやめるときは(ストップ)を押してください。

● システム登録の「145 FROM 選択機能」が“あり”のときは手順４で(スタート)を押したあと、FROM 選択画面になります。
FROM（発信元）選択後(スタート)を押すと、原稿の読み取りが開始されます。
お買い上げ時の設定は“なし”になっています。(☛42 ページ)

ダイヤル再入力と宛先確認のしかた

お買い上げ時、システム登録は次のように設定されています。これらの機能によって、誤って別の相手に送信するなどの誤送信を防止できます。

・システム登録の「137 直接ダイヤル再入力」“あり”に設定されています。直接ダイヤルを利用すると、メールアドレスの再入力画面が表示されます。

・システム登録の「125 宛先確認」"あり"に設定されています。すべての宛先の確認が終了すると、送信が開始されます。

・システム登録の「117 複数宛先指定」“なし”に設定されています。複数宛先に送信する場合は、“あり”に変更してください。
グループダイヤルは、「117 複数宛先指定」が“あり”に設定されている場合にだけ指定できます。“なし”に設定されている場合は、手順2で グループダイヤル を押すと、次のメッセージが表示されます。

複数宛先の選択はできません

1 図のように原稿をセットする

・原稿に合わせて、画質を選ぶとき。
（☞28 ページ）

7月　1日（金）17:15　00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています

2 宛先を指定する

・直接ダイヤル ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル 電話帳ダイヤル グループダイヤル ハイブリットダイヤル
（☞20 ページ～ 28 ページ）
・システム登録の「117 複数宛先指定」が“あり”に設定されている場合に、最大 1020 宛先まで（UF-A700 は最大 220 宛先まで）指定できます。「複数宛先の指定のしかた（順次同報送信）」（☞38 ページ）

3 を押す

・直接ダイヤルで指定した場合は、メールアドレスの再入力を促すメッセージが表示されます。

再度入力してください
_
インターネット

お知らせ

● 手順４で、スタート の代わりに セット を押すと、複数の宛先を設定できます。
（☞38 ページ）

● システム登録の「091 宛先確定」が“あり”に設定されている場合は、短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤルを連続して指定できません。セット を押してから次の宛先を指定してください。

直接ダイヤルの場合は、もう一度ダイヤルして、

を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

・手順２とメールアドレスが一致しない場合は、手順２に戻ります。

メモリー送信　　　宛先数: 0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください

5 ⓥまたはⓐですべての宛先を確認する

・宛先確認をした場合だけ送信できます。

お知らせ

● 手順５で、宛先に誤りがある場合は、次の手順で訂正します。

1. ⓥ ⓐ ボタンで宛先を表示する
2. クリアー を押す
3. 宛先を再指定する

を押す

・原稿の読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

複数宛先の指定のしかた（順次同報送信）

インターネットFAX宛先は直接ダイヤルで20か所、短縮ダイヤル・ワンタッチボタンのうちで200か所の計220か所まで指定できます。複数宛先を指定するには、システム登録の「117 複数宛先指定」が“あり”に設定されている必要があります（お買い上げ時は、“なし”に設定されています）。

- 直接ダイヤルで選ぶ→ 宛先の電話番号 ＋ セット ＋［再入力］＋ セット →次の宛先を選べる
- 短縮ダイヤルで選ぶ→ 短縮 ＋ 指定する短縮番号 →次の宛先を選べる
- ワンタッチボタン･ファンクション登録ボタンで選ぶ
  →指定するワンタッチボタン・ファンクション登録ボタンを押す→次の宛先を選べる
- 電話帳ボタンで選ぶ
  → 電話帳 → 検索文字を選ぶ ＋ 宛先を表示させる ＋ セット →次の宛先を選べる
- ハイブリッドダイヤルで選ぶ
  → ハイブリッドダイヤル ＋ 組み合わせる短縮ボタンまたはワンタッチボタン ＋ セット ＋［再入力］＋ セット →次の宛先を選べる

例：「abc@panasonic.com」「ワンタッチボタン01」「短縮ダイヤル001を指定する。

4 もう一度メールアドレスを入力して、セット を押す

メモリー送信　宛先数: 0001
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します

5 ●さ 01 K を押す

メモリー送信　宛先数: 0002
東京本社
ワンタッチ：０１

6 セット を押す

メモリー送信　宛先数: 0002
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します

7 短縮 ⓪⓪① を押す

メモリー送信　宛先数: 0003
Ｐａｎａｓｏｎｉｃ
短縮：００１（3桁）

8 セット を押す

メモリー送信　宛先数: 0003
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します

9 スタート を押す

メモリー送信　宛先数: 0003
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください

10 ∨または∧で、すべての宛先を確認する

メモリー送信　宛先数: 0003
宛先間違いはありませんか？
はい：スタート　いいえ：クリアー

11 スタート を押す

・原稿を読み取り、送信が開始されます。

お知らせ

- 複数宛先指定の途中で ∨ ∧ ボタンを押すと、指定した宛先の確認ができます。
- まちがった宛先を指定したときは、∨ ∧ ボタンで宛先を表示させてから クリアー を押してください。
- システム登録の「136 直接ダイヤル制限」が“あり”に設定されている場合、直接ダイヤルは利用できません。
- お買い上げ時は、システム登録の「125 宛先確認」が " あり " に設定されています。すべての宛先の確認が終了すると、送信が開始されます。
- お買い上げ時は、システム登録の「137 直接ダイヤル再入力」が“あり”に設定されています。直接ダイヤルを利用すると、メールアドレスの再入力画面が表示されます。
- システム登録の「091 宛先確定」が“あり”に設定されている場合は、短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤルを連続して指定できません。セット を押してから次の宛先を指定してください。

E メールヘッダー宛先指定をする

E メールヘッダーの指定をするときに、CC（Carbon Copy）と BCC（Blind Carbon Copy）の指定ができます。CC/BCC の入力をするにはシステム登録の「168 CC/BCC 宛先」、および「117 複数宛先指定」を“あり”にします（お買い上げ時は、どちらも“なし”に設定されています）。
（☛取扱説明書ファクス編および 114 ページ）

1 原稿をセットする

・原稿に合わせて、読み取りモードを設定できます。（☛取扱説明書ファクス編を参照してください）

7月　1日（金）17:15　00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています

2 宛先を選ぶ

・ ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤル / 直接ダイヤル / 電話帳ダイヤル
・ワンタッチダイヤル（01 ～ 50）、短縮ダイヤル（000 ～ 999）、直接ダイヤル、電話帳ボタンで宛先を指定します。
例：「短縮 001」

メモリー送信　　　宛先数: 0001
総務
短縮：００１（３桁）

3 セット を押す

・宛先を追加する場合は、追加する宛先を指定して セット を押し、手順４に進みます。

メモリー送信　　　宛先数: 0001
宛先を追加してください
又は　スタートで通信します

4 セット を押す

メモリー送信　　　宛先数: 0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください

5 ∧または∨を押して宛先を確認する

メモリー送信　　　宛先数: 0001
宛先間違いはありませんか？
はい：ｽﾀｰﾄ/ｾｯﾄ　いいえ：ｸﾘｱｰ

6 セット を押す

メモリー送信　　　宛先数: 0001
CC 宛先を追加してください
又は　スタートで通信します

7 CC 宛先を指定して セット を押す

・CC 宛先を追加する場合は、追加する CC 宛先を指定して セット を押し、手順 8 に進みます。

メモリー送信　　　宛先数: 0002
CC 宛先を追加してください
又は　スタートで通信します

8 セット を押す

メモリー送信　　　宛先数: 0002
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください

9 ∧または∨を押して宛先を確認する

メモリー送信　　　宛先数: 0002
宛先間違いはありませんか？
はい：ｽﾀｰﾄ/ｾｯﾄ　いいえ：ｸﾘｱｰ

10 セット を押す

メモリー送信　　　宛先数: 0002
BCC 宛先を追加してください
又は　スタートで通信します

11 BCC 宛先を指定して セット を押す

・BCC 宛先を追加する場合は、追加する BCC 宛先を指定して セット を押し、手順 12 に進みます。

メモリー送信　　　宛先数: 0003
BCC 宛先を追加してください
又は　スタートで通信します

12 セット を押す

メモリー送信　　　宛先数: 0003
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください

13 ∧または∨を押して宛先を確認する

メモリー送信　　　宛先数: 0003
宛先間違いはありませんか？
はい：ｽﾀｰﾄ/ｾｯﾄ　いいえ：ｸﾘｱｰ

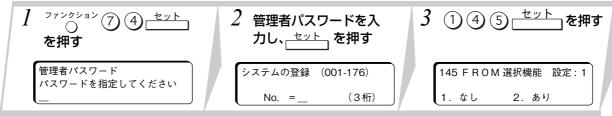
14 スタート を押す

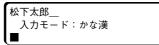
・原稿の読み取りが開始されます。
・自動的に送信が始まります。
・送信が終わると、待機状態に戻ります。

お知らせ

- 送信を途中でやめるときは、(ストップ)を押したあとに [1]（はい）を押してください。
- 宛先指定は CC/BCC も含め、直接ダイヤル 20 か所、短縮ダイヤル・ワンタッチダイヤルのうちで 200 か所の計 220 か所まで指定できます。
- 手順 5、9 で (スタート) を押すと、それまでに指定した宛先で原稿の読み取りが開始されます。

ＦＲＯＭ選択機能の登録

システム登録 「145 ＦＲＯＭ選択機能」を“あり”にすると、メール送信時に、発信元やメールのFrom欄の内容を選ぶことができます。お買い上げ時の設定は “なし”になっています。
24個（No.01 ～ No.24）の名称とアドレスを登録できます。

6 **名称を登録する**

・最大20文字まで登録できます。
・名称を入れます。（☞取扱説明書ファクス編を参照してください）
・名称入力は「文字シート」を使ってください。

7 セット **を押す**

No. 0 1
アドレスを指定してください
_

8 **アドレスを指定する**

・ワンタッチダイヤルやテンキーから英数字を入力してください。
・最大60桁まで登録できます。

No. 0 1
アドレスを指定してください
Taro@pana.co.jp_

9 セット **を押す**

続けて登録ができます。
手順3からの操作を繰り返します。

No. 0 2
名称を登録してください
__

お知らせ

● 登録を途中でやめるときは（ストップ）を押してください。

受信のしかた

LAN 内の PC およびインターネットファクスからの受信については、自動的にプリントされて受信トレイに排出されます。受信するための設定はありません。ただし、POP サーバーに接続してインターネットファクスをご利用の場合は、POP 関連の設定が必要になります。（☞44 ページ）
インターネットファクスは原稿以外に電子メールも受信できます。
電子メールを PC で見る場合の操作については、お使いのメールソフトやビューアーソフトの取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェアのダウンロードについて

TIFF ビューアー、TIFF コンバーター、プリンタードライバー、Panafax デスクトップ、ファクス受信ソフトが以下のホームページからダウンロードできます。
・ホームページ　　　http://panasonic.biz/doc/fax/download/index.html

- TIFF ビューアー、TIFF コンバーターのインストールは上記ホームページの取扱説明書を参照して行ってください。
- プリンタードライバー、Panafax デスクトップ、ファクス受信ソフトのインストールは、Web サイトに PDF 形式でオンラインヘルプ化されている『取扱説明書ソフトウェア編』を参照してください。
- インストール後の動作に関しましては、お客様の責任の下お取り扱いいただきますようお願いいたします。当社では、このソフトウェアについての動作保証、インストール後の二次的損害に関しては一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

POP 受信

POP サーバーに接続してご利用されている場合には、以下の方法で受信できます。
（お使いの機器が POP サーバーに接続されているかどうかは、システム管理者の方にお尋ねください）

POP による受信の設定

システム登録の「146 POP 取得間隔」「147 POP 自動受信」「148 POP 受信後削除」「149 POP エラー時削除」を設定します。

「146 POP 取得間隔」　：POP サーバーに受信メールの問い合わせを行う間隔（0 ～ 60 分）を設定します。（0 分の時は自動で問い合わせは行いません。）
「147 POP 自動受信」　：POP サーバー自動問い合わせで受信メールがある場合、メールを受信し、プリントします。
“なし”の場合は、ディスプレイに受信メールの件数のみを表示します。
「148 POP 受信後削除」　：メール受信後、サーバーからメールを削除する・しないを設定します。
「149 POP エラー時削除」：プリントできない添付ファイルを受信した場合、サーバーからメールを削除する・しないを設定します。

1

を押す

```
管理者パスワード
パスワードを指定してください
_
```

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

```
システムの登録　(001-176)
    No.　=＿　　　　(3桁)
```

3 POP 取得間隔を選ぶ

① ④ ⑥ セット を押す

```
146 ＰＯＰ 取得間隔
０３分（０～６０［分］）
```

4 取得間隔（0 ～ 60 分）を入力する

・ テンキー で 0 ～ 60 の数字を入力します。
・まちがえたときは クリアー で消去して再度入力します。

5 セット を押す

・POP 自動受信の登録表示に移ります。

```
147 ＰＯＰ 自動受信　　設定：2
1．なし　　　2．あり
```

6 “なし”または“あり”を選ぶ

①または②を押す
例：「①」

```
147 ＰＯＰ 自動受信　　設定：1
1．なし　　　2．あり
```

7 セット を押す

・POP 受信後削除の登録表示に移ります。

```
148 ＰＯＰ 受信後削除　設定：2
1．なし　　　2．あり
```

8 “なし”または“あり”を選ぶ

①または②を押す
例：「①」

```
148 ＰＯＰ 受信後削除　設定：1
1．なし　　　2．あり
```

9 セット を押す

・ＰＯＰエラー時削除の登録表示に移ります。

149 ＰＯＰ エラー時削除　設定：1
1．なし　　2．あり

10 “なし”または“あり”を選ぶ

①または②を押す

例：「②」

149 ＰＯＰ エラー時削除設定：2
1．なし　　2．あり

11 セット を押す

150 送達確認　　設定：1
1．なし　　2．あり

12 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

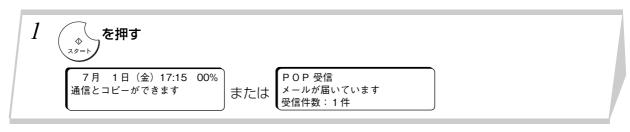
● 設定を途中でやめるときは、ストップを押してください。
● 設定項目の一覧は、114 ページを参照してください。
● プリントできない添付ファイルを受信した場合、エラーメッセージをプリントし、プリントできなかったことを知らせます。
「149 POP エラー時削除」を“なし”に設定しておけば、エラーになったメールをサーバーから削除しないため、あとから PC で受信することができます。
● 「148 POP 受信後削除」、「149 POP エラー時削除」を“なし”に設定した場合は、サーバーが保存できるメール数に限りがあるため、定期的にサーバーからメールを削除する必要があります。
PC で受信するか、「148 POP 受信後削除」、「149 POP エラー時削除」を“あり”に設定し POP 受信を行い、サーバーからメールを削除してください。
● 「148 POP 受信後削除」、「149 POP エラー時削除」を“なし”から“あり”に変更し POP 受信を行うと、サーバーに残っているメールをすべて受信するため、以前にプリントしたメールが再度プリントされる場合があります。

POP による自動受信

システム登録の「146 POP 取得間隔」が“0 分”以外で、「147 POP 自動受信」が、“あり”の場合（☛44 ページ）、「146 POP 取得間隔」で指定された時間間隔で POP サーバーに受信メールの有無を問い合わせ、ある場合は自動受信し、プリントします。

- 「146 POP 取得間隔」が 0 分の場合は自動で POP サーバーに受信メールの有無を問い合わせにいかないため自動受信はしません。この場合は、手動で POP 受信を行ってください。
- 「147 POP 自動受信」が“なし”の場合、「146 POP 取得間隔」で指定された時間間隔で POP サーバーに受信メールの有無を問い合わせ、ある場合は件数をディスプレイ上に表示します。

POP による手動受信

システム登録の「147 POP 自動受信」を“なし”に設定した場合（☛114 ページ）は、手動で POP サーバーから受信できます。

2 サーバーに受信メールがない場合はエラーを表示します。

ＰＯＰ 受信
受信メールはありません

3 サーバーに受信メールがある場合は、件数を表示した後メールを受信し、プリントします。

受信
通信中（ＬＡＮ）受信頁：０１
aaa@panasonic.com

▶

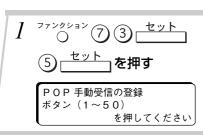
受信データ
プリントしています

お知らせ

- ワンタッチボタンにユーザー名、パスワードを登録することで、自局設定以外のユーザー名で POP 受信することができます。（☛47 ページ）
- 1 度の操作で受信できるメールは 20 件までです。
- ディスプレイに表示されるメールの件数が 20 件の場合は、手順 3 の受信終了後、もう一度手順 1 からの操作を行って受信メールがないことを確認してください。

POP 手動受信の登録

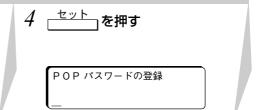
ワンタッチに POP サーバーのユーザー名、パスワードを登録して POP サーバーからメールを受信することができます。

1 ファンクション ○ ⑦ ③ セット ⑤ セット を押す

2 **登録するワンタッチ（01 ～ 50）を押す**

・指定したワンタッチに登録内容があるときは 3 段目にその内容を表示します。

POPユーザー名の登録
名称を登録してください
_

3 **ユーザー名称を入れる**

・ワンタッチダイヤルやテンキーから英数字を入力してください。最大 40 文字まで入力できます。

4 セット **を押す**

5 **パスワードを入れる**

・ワンタッチダイヤルやテンキーから英数字を入力してください。最大 10 文字まで入力できます。

POPパスワードの登録
pana123_

6 セット **を押す**

7 **POP 受信後メールを削除する時は ② を押します**

・POP 受信後メールを削除しない時は ① を押します。

例：「②」

8 セット **を押す**

続けて POP 手動受信の登録ができます。
手順 2 からの操作を繰り返します。

9 **ストップ を押す**

- 登録を途中でやめるときは ストップ を押してください。
- 手順 5 で何も入力しないでセットを押すと、ワンタッチを使った POP 受信時に入力することができます。（☞48 ページ）

ワンタッチダイヤルによるPOP受信

ワンタッチにPOPサーバーのユーザー名、パスワードを登録してPOPサーバーからメールを受信することができます。

- あらかじめワンタッチにPOP手動受信の登録をしておいてください。（☞47ページ）
- ユーザー名とパスワードは登録時省略することができます。その時はワンタッチによるPOP受信時に入力します。

1 **POP手動受信が登録してあるワンタッチ（01～50）を押す**

```
POP受信ユーザー名

taro
```

・ユーザー名が登録されていない時は下のようになります
ワンタッチダイヤルやテンキーから英数字を入力してください。
最大40文字まで入力できます。

```
POP受信ユーザー名

_
```

2 **を押す**

・パスワードが登録されている時は手順3へ進みます。
・パスワードが登録されていない時は下のようになります。
ワンタッチダイヤルやテンキーから英数字を入力し（スタート）を押してください。
最大10文字まで入力できます。

```
POP受信パスワード

_
```

3 **サーバーに受信メールがない場合は次のメッセージを表示します。**

```
POP受信
受信メールはありません
```

4 **サーバーに受信メールがある場合は件数を表示した後メールを受信し、プリントします。**

```
受信
通信中（LAN）　受信頁：01
aaa@panasonic.com
```

▶

```
受信データ
プリントしています
```

お知らせ

- 1度の操作で受信できるメールは20件までです。
- 20件以上のメールがPOPサーバーにある場合、ディスプレイ上に表示されるメールの件数は20件となります。
- ディスプレイに表示されるメールの件数が20件の場合は、手順4の受信終了後、もう一度手順1からの操作を行って受信メールがないことを確認してください。

受信ルーティング

ルーティング・パラメーターの設定

ルーティングとは特定の G3 ファクスから受信した場合に、本機であらかじめ設定した宛先（LAN に接続した PC やインターネットファクス、または他の G3 ファクス）に転送する機能です。
G3 ファクスから受信したときに、ルーティング転送する特定の G3 ファクスであるかの判断は次の複数のパラメータで行なわれます。

システム登録の「152 SUB ルーティング」「153 数字 ID ルーティング」および「175 発番号 ルーティング」または「176 ダイヤルイン ルーティング」のいずれかで、利用できる項目を“あり”に設定してください。(☛114、115 ページ) いずれかを“あり”に設定すると、本機にてダイヤルの登録（ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル）をする際に、ルーティング条件を設定できます。(☛109、111 ページ)

G3 ファクスから受信したときに、送信機からのサブアドレスや数字 ID、発信者番号またはダイヤルイン番号がルーティング条件として設定されているワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルの宛先に転送されます。

「152 SUB ルーティング」：F コード通信（サブアドレス通信）を利用できる G3 ファクスから F コードのサブアドレスを使用してルーティングする場合に“あり”に設定します。送信側 G3 ファクスから F コードのサブアドレスで本機に登録されている宛先にルーティングすることができます。

「153 数字 ID ルーティング」：F コード通信を利用できない G3 ファクスから、ルーティングさせる場合に“あり”に設定します。送信側ファクスから送られてくる数字 ID で本機に登録されている宛先にルーティングすることができます。

「154 ルーティング時 FROM」：ルーティングされる各ファクスのメールヘッダーの「FROM」欄に表示する設定を選択します。

「155 ルーティング時出力」：受信した原稿をすべて本機で印刷するか、ルーティング操作が機能しなかった場合のみ印刷するかどうかを選択する場合は、このパラメーターで設定してください。

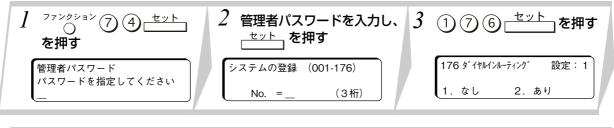
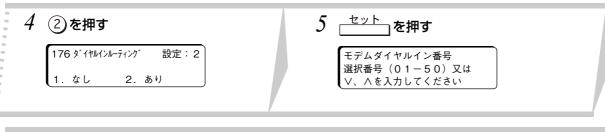
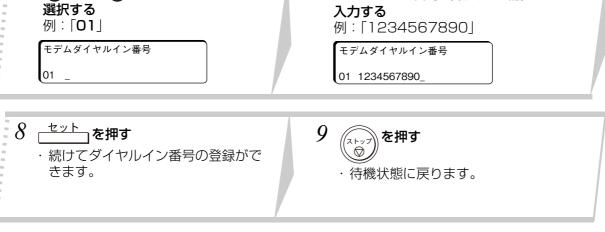
「175 発番号 ルーティング」：発信者番号通知（ナンバーディスプレイ）を利用してルーティングする場合に“あり”に設定します。送信側 G3 ファクスから送られる発信者番号で、本機に登録されている発信者番号の宛先にルーティングすることができます。
なお、本項目を利用する場合は、システム登録の「090 発番号契約」を“あり”に設定する必要があります。

「176 ダイヤルイン ルーティング」：モデムダイヤルインを利用してルーティングする場合に「あり」に設定します。送信側 G3 ファクスから送られるダイヤルイン番号で、本機に登録されている宛先にルーティングすることができます。

お知らせ

- 発信者番号通知・ダイヤルインサービスはあらかじめ NTT との契約が必要です。本サービスの詳細につきましては NTT にお問い合わせください。
- NCC 回線をご利用の場合は、NCC 各社でサービス内容が異なります。発信者番号通知・ダイヤルインサービスの詳細につきましてはご契約の NCC にお問い合わせください。

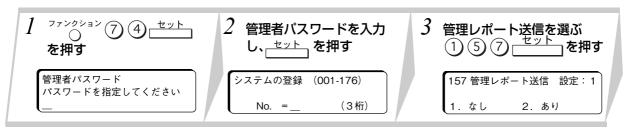
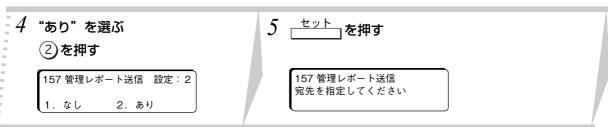
ダイヤルインの登録

お知らせ

- 設定を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- 設定項目の一覧は、114 ページ、115 ページを参照してください。
- 利用できるファクスに関して、ご不明な場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。
- 手順 2 の画面はオプションの増設通信ユニットを装着している場合、各チャンネルの選択画面となります。必要なチャンネルを選択してから設定してください。

通信管理レポート送信

通信管理レポートを指定したメールアドレスにメール送信することができます。

通信管理レポート送信の設定

● システム登録の、「157 管理レポート送信」を設定します。

6 **宛先を指定する**
例：「短縮ダイヤル 010」

157 管理レポート送信
abc@panasonic.com
短縮：０１０（３桁）

・ ワンタッチダイヤル 短縮ダイヤル が指定できます。
・まちがえたときは クリアー で消去して再度入力します。

お知らせ

● 通信管理レポートは 40 通信に達した時に自動送信されます。

● 設定を途中でやめるときは、ストップを押してください。

● 設定項目の一覧は、114 ページを参照してください。

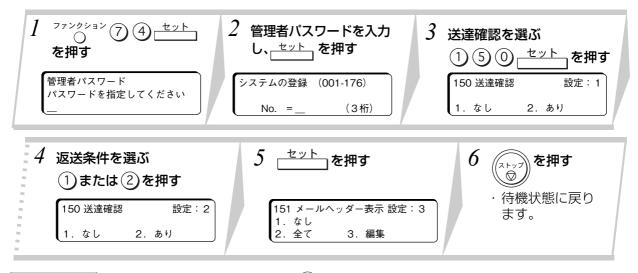
● システム登録「013 通信管理レポート」が“あり”のとき有効となります。自端末にプリントする場合はシステム登録「157 管理レポート送信」の設定を“なし”に、メール送信したい場合は“あり”に設定します。

送達確認

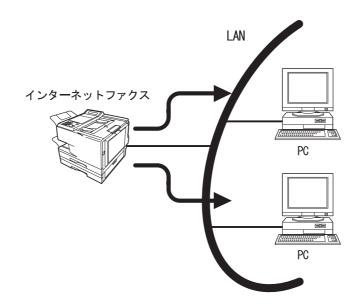
メールを受信したときは、送信元に受信確認メールを自動的に送信することができます。
送達確認の送信は、送信元の機種が限定されます。詳しくは、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

送達確認の設定

● システム登録の、「150 送達確認」を設定します。
“1：なし”：受信確認メールを送信しません。
“2：あり”：メールを受信したときに受信確認メールを送信します。

お知らせ

● 設定を途中でやめるときは、ストップを押してください。
● 設定項目の一覧は、114 ページを参照してください。
● PC から送信したメールを受信したときは、送信元に受信確認メールを送信することはできません。

ネットワークスキャナー

インターネットファクスをスキャナーとしてご利用になれます。
インターネット通信を利用して、画像（原稿）をインターネットファクスから PC のメールアドレスへ送信することにより、画像データを PC 側で読み込むことができます。

1 原稿をセットする

・原稿に合わせて、読み取りモードが設定できます。（☞取扱説明書ファクス編を参照してください）

```
  7月  1日（金）17:15  00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

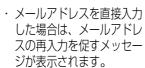
2 ［スキャナー］を押す

3 宛先を指定する（☞20 ～ 40 ページ）

・［直接ダイヤル］［ワンタッチダイヤル］［短縮ダイヤル］［電話帳ダイヤル］
・複数の宛先を指定できます。短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤルは最大 200 か所、メールアドレスを直接入力する場合は最大 20 か所まで指定できます。（☞38 ページ「複数宛先の指定のしかた」）

例：「短縮 011」

```
メモリー送信        宛先数:0001
松下インターネット
短縮：011（3桁）
```

4 ［スタート］を押す

・メールアドレスを直接入力した場合は、メールアドレスの再入力を促すメッセージが表示されます。
・宛先指定が直接入力以外の場合は手順 5 へ進みます。

```
再度入力してください
_
                 インターネット
```

5 もう一度メールアドレスを入力して、［スタート］を押す

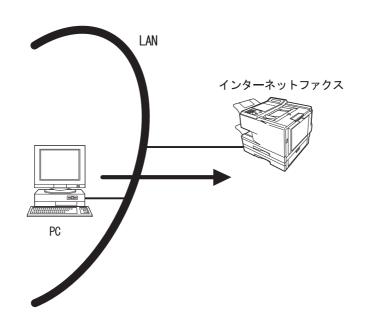
・宛先確認のメッセージが表示されます。

```
メモリー送信        宛先数:0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください
```

6 ［∨］または［∧］で宛先を確認し、［スタート］を押す

・宛先確認をした場合だけ送信できます。
・原稿読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

ネットワークプリンター

インターネットファクスをプリンターとしてご利用になれます。
PC の各種アプリケーションで作成した書類を PC からの操作により、LAN に接続したインターネットファクスへプリントすることができます。ただし、ネットワークプリンター機能を利用するためには、ホームページからソフトウェア（プリンタードライバーおよび LPR）をダウンロードして PC にインストールする必要があります。（☞43 ページ）

1 PCでプリンターの種別をインターネットファクスに設定する	*2* PCからインターネットファクスにプリントする	*3* インターネットファクスから出力する
		プリンタデータプリント プリントしています

お知らせ

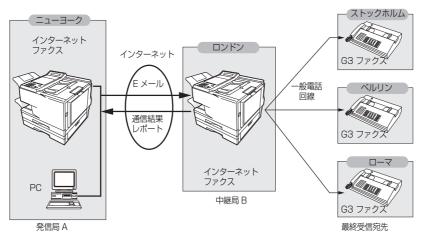
- A3/B4 サイズを、600dpi でプリントすることはできません。
- プリンタードライバーのインストールの方法や操作方法については、ダウンロードしたホームページを参照してください。（☞43 ページ）

中継同報

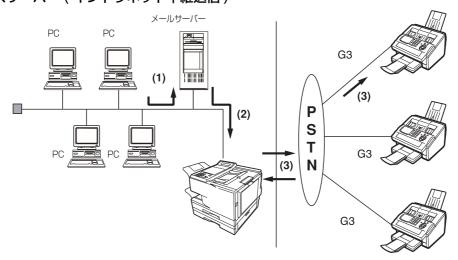
中継同報について

■概要

LAN 中継同報機能を持ったインターネットファクスとネットワークを組むことにより、LAN 経由で送信した E メールを、一般回線に接続された複数のファクスへ同報送信することができます。

例 1: インターネット中継送信ネットワーク

以下に LAN 中継同報の流れを説明します。

1. LAN 中継機能を持ったインターネットファクス（中継局 B）に、E メール（TIFF-F 形式のファイルを添付することができます）で、LAN 中継同報を指示します。
   あらかじめ、LAN 中継指示を登録したワンタッチ／短縮ダイヤルを使用すると、簡単に LAN 中継同報の指示ができます。
2. 管理者用の PC に、LAN 中継同報指示されたことを E メールで通知します。
3. LAN 中継指示された E メールを、一般回線に接続されたファクス（ストックホルム）へ順次同報を開始します。受信した E メールは、1 枚目にメールヘッダ及びメール本文、2 枚目以降に添付ファイルを出力します。
4. 引き続き、次のファクス（ベルリン・ローマ）に転送します。
5. LAN 中継同報が終了したら、通信結果を LAN 中継同報を指示したインターネットファクス（発信局 A）または PC へ通信結果レポートで返送します。

例 2: ファクスサーバー (イントラネット中継送信)

(1) E メールによりメールサーバーまで LAN 中継同報送信を開始します。
(2) メールサーバーは LAN 中継指示で本機に E メールを転送します。
(3) 本機は、G3 ファクスに通信を開始しファイルを送信します。

（注）中継局に使用する装置は、DNS に登録が必要です。

■中継ネットワーク

本機から最終宛先まで直接インターネットファクスで送信する場合、本機能により、時間および長距離市外電話料金が節約できます。
中継ネットワークは原則として、インターネットファクス (発信局 A) または PC である発信局と LAN 中継機能を持つインターネットファクス（中継局 B)、そして G3 ファクスである最終宛先から構成されます。
本機からの原稿の送信、または PC から E メールに添付した原稿を中継局（本機を含む）へ送信します。
中継局からは通常の電話回線を使って G3 ファクスである最終宛先まで送信できます。(PC からの送信は TIFF-F またはテキスト (.txt) ファイル添付が可能です。)
中継局から最終宛先への送信には電話料金が発生します。
中継局から最終宛先までの送信完了後に、LAN 中継送信が完了したかどうかを通知する通信ジャーナルが中継局から発信局に返信されます。中継送信情報は、E メールで中継局にあらかじめ登録されている自局登録のインターネットパラメーターの管理者メールアドレスに送信されます。（☛ 101 ページ）
LAN 中継送信を利用するには、57 ページ から 64 ページ までに記載の設定手順にしたがい、必要情報を入力してください。図 1 に LAN 中継ネットワークの例を記載します。
図 1 の例は、**ニューヨーク (発信局)** を起点とし、**ロンドンおよびシンガポール (中継局)** がニューヨークと結ばれ、**(最終宛先) はストックホルム、ローマ、東京、香港そしてシドニー**などとなっています。
この基本的なネットワークは 2 か所の中継局を利用し、ロンドンの中継局および／またはシンガポールの中継局を介してネットワーク内の宛先に、1 回の操作でファイルを送信できます。

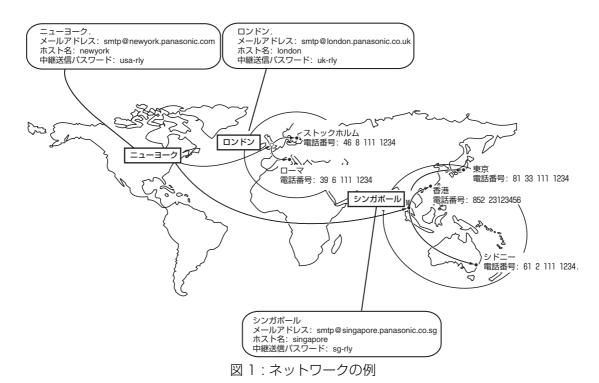
図 1：ネットワークの例

■中継同報

表 1,2 および 3 は、56 ページの図 1 記載のサンプルネットワーク設定です。

表 1 : ニューヨークへのサンプルパラメーターおよびアドレス帳登録内容 (発信局)

電話番号 : 212 111 1234
メールアドレス (SMTP) : smtp@newyork.panasonic.com
ホスト名 : newyork
中継用パスワード : usa-rly

ワンタッチ／短縮ダイヤル	宛先名	メールアドレス / 電話番号	中継局アドレス
<01>	ロンドン	smtp@london.panasonic.co.uk	---
<02>	ストックホルム	46 8 111 1234	[001]
<03>	シンガポール	smtp@singapore.panasonic.co.sg	---
<04>	東京	81 33 111 1234	[002]
[001]	ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	---
[002]	シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	---
[003]	ローマ	39 6 111 1234	[001]
[004]	香港	852 23123456	[002]
[005]	シドニー	61 2 111 1234	[002]

表 2 : ロンドンへのサンプルパラメーターおよびアドレス帳登録内容 (中継局)

電話番号 : 71 111 1234
メールアドレス (SMTP) : smtp@london.panasonic.co.uk
ホスト名 : london
中継用パスワード : uk-rly

ワンタッチ／短縮ダイヤル	宛先名	メールアドレス / 電話番号	中継局アドレス
<01>	ニューヨーク	smtp@newyork.panasonic.com	---
<02>	ストックホルム	46 8 111 1234	[005]
<03>	シンガポール	smtp@singapore.panasonic.co.sg	---
<04>	東京	81 33 111 1234	[001]
[001]	シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	---
[002]	ローマ	39 6 111 1234	[005]
[003]	香港	852 23123456	[001]
[004]	シドニー	61 2 111 1234	[001]
[005]	ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	---

表 3 : シンガポールへのサンプルパラメーターおよびアドレス帳登録内容 (中継局)

電話番号 : 65 111 1234
メールアドレス (SMTP) : smtp@singapore.panasonic.co.sg
ホスト名 : singapore
中継用パスワード : sg-rly

ワンタッチ／短縮ダイヤル	宛先名	メールアドレス / 電話番号	中継局アドレス
<01>	ロンドン	smtp@london.panasonic.co.uk	---
<02>	ストックホルム	46 8 111 1234	[001]
<03>	ニューヨーク	smtp@newyork.panasonic.com	---
<04>	東京	81 33 111 1234	[005]
[001]	ロンドンリレー	uk-rly@london.panasonic.co.uk	---
[002]	ローマ	39 6 111 1234	[001]
[003]	香港	852 23123456	[005]
[004]	シドニー	61 2 111 1234	[005]
[005]	シンガポールリレー	sg-rly@singapore.panasonic.co.sg	---

■LAN 中継送信局としての設定

以下のパラメーターの設定を確実に行って、本機を LAN 中継局に設定してください。

1. **LAN 中継機能** (システム登録 No.142)
   本機を LAN 中継局として機能させるかを選択
   1) なし- LAN 中継動作をしない
   2) あり- LAN 中継動作をする

2. **LAN 中継結果返送** (システム登録 No.143)
   LAN 中継結果を発信元へ返送する設定
   1) なし- 送信しない
   2) 全通信- LAN 中継結果全てを送信する
   3) 異常時- LAN 中継で未通信となった場合、送信する

3. **LAN 中継指示をするときのパスワード** (自局登録のインターネットパラメーター)
   (☛お知らせ)
   LAN 中継指示をするとき、第三者が本機にアクセスするのを防ぐ目的でパスワード(10 文字まで)を設定します。このパスワードが合った場合のみ、LAN 中継送信します。

4. リレーアドレス
   LAN 中継局を登録している宛先を指定します。

5. **管理者のメールアドレス** (自局登録のインターネットパラメーター)
   LAN 中継の管理およびコスト管理の目的で、管理者のメールアドレスを登録してください。送信情報は以下のとおりです。
   (発信者：発信局のメールアドレス)
   (宛先：受信者の G3 ファクスの電話番号)
   各発信者からの LAN 中継指示を受けると、管理者へメールで通知されます。

6. **中継許可ドメイン名** (自局登録のインターネットパラメーター) (☛お知らせ)
   10 件のドメイン名 (最大 30 文字) まで登録できます。
   例 : 登録ドメイン名
   (01) : pcc.co.jp
   (02) : panasonic.com

   上記の例で、LAN 中継指示は、pcc.co.jp または panasonic.com の
   ドメイン名を含むメールアドレスからのみ受信可能です。

お知らせ

- LAN 中継用パスワードはメールのヘッダー部分に含まれて送信するため、メールやインターネットファクスで使っているメールアドレスとは異なるものを登録することをお勧めします。このように登録することで、インターネットファクスを受信したとき、LAN 中継用パスワードを容易に識別できます。
- ドメイン名がすべて空欄である場合は、インターネットファクスは全てのドメイン名に対して LAN 中継指示を受信します。
- 本機が中継局として動作するように、中継用パスワードを登録してください。
- 第三者が LAN 中継局送信にアクセスできないようするため、ネットワークセキュリティーを設定してください。LAN 中継局送信通知のために、中継許可ドメイン名と管理者のメールアドレスを入力してください。

中継同報指示

● システム登録の「140 LAN 中継指示」「142 LAN 中継機能」、および「143 LAN 中継結果返送」を設定しておいてください。（☛114 ページ）

1 原稿をセットする

・原稿に合わせて、画質を設定できます。
（☛取扱説明書ファクス編を参照してください）

7月　1日（金）17:15　00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています

2 中継局を選ぶ

ファンクション ○ ② ⑧ セット を押す

LAN 中継同報指示
中継局を指定してください

3 中継局のメールアドレスを入れる

・直接ダイヤル／ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤル／電話帳ダイヤル
・ワンタッチダイヤル（01 ～ 50）、短縮ダイヤル（000 ～ 999）、直接ダイヤル、電話帳ダイヤルで1 宛先を指定します。
例：「短縮 011」

LAN 中継局の指定
松下インターネット
短縮：０１１（3 桁）

4 セット を押す

LAN 中継宛先の指定 宛先数：0000
宛先を指定してください

5 宛先を指定する

・直接ダイヤル／ワンタッチダイヤル／短縮ダイヤル／電話帳ダイヤル
・ワンタッチダイヤル（01 ～ 50）、短縮ダイヤル（000 ～ 999）、直接ダイヤル、電話帳ダイヤルを組み合わせて、最大 1020 宛先まで (UF-A700 は最大 220 宛先まで）指定できます。
例：「短縮 001」

LAN 中継宛先の指定　宛先数: 0001
Ｐａｎａｓｏｎｉｃ
短縮：００１（3 桁）

6 スタート を押す

・メールアドレスを直接入力した場合は、メールアドレスの再入力を促すメッセージが表示されます。
・宛先指定が直接入力以外の場合は手順8へ進みます。

再度入力してください
_
インターネット

7 もう一度メールアドレスを入力して、スタート を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

メモリー送信　　宛先数: 0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください

8 ∨または∧で宛先を確認し、スタート を押す

・宛先確認をした場合だけ送信できます。
・原稿読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

お知らせ

● 手順 3 で指定する中継局は、中継局に登録されている中継用パスワードを含んだ、メールアドレスを指定します。
● 中継同報の結果は送達通知メールで返送されてきます。（☛64 ページ）
● LAN に接続されたインターネットファクスや PC を宛先として、LAN 経由で中継同報を指示することはできません。
● 中継局を直接ダイヤルで指定するときは F5 インターネット ボタンを押してからメールアドレスを入力してください。
● システム登録の「136 直接ダイヤル制限」が“あり”に設定されている場合、メールアドレスを直接ダイヤル（手動で入力）で指定することはできません。

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに「電話番号」と、中継局を登録しておくと、［ワンタッチダイヤル］→［スタート］

または［短縮］（短縮番号 000 ～ 999）→［スタート］を押すだけで中継同報指示の指定ができます。

● ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに「中継局」を登録しておいてください（☞109 ページまたは 105 ページ）。

1 原稿をセットする

・原稿に合わせて、画質を設定できます。
（☞取扱説明書ファクス編を参照してください）

```
 7月 1日（金）17:15 00%
通信とコピーができます
原稿がセットされています
```

2 宛先を指定する

・［ワンタッチダイヤル］［短縮ダイヤル］［電話帳ダイヤル］
・ワンタッチダイヤル（01 ～ 50)、短縮ダイヤル（000 ～ 999)、電話帳ダイヤルを組み合わせて、最大 1000 宛先まで（UF-A700 は最大 200 宛先まで）指定できます。

```
メモリー送信　　宛先数:0001
Panasonic
短縮：001（3桁）
```

3 ［スタート］を押す

・宛先確認のメッセージが表示されます。

```
メモリー送信　　宛先数:0001
∨、∧で宛先を確認して
スタートを押してください
```

4 ∨または∧で宛先を確認し、を押す

・宛先確認をした場合だけ送信できます。
・原稿読み取りが開始されます。
・読み取りが終了した原稿から送信が開始されます。

お知らせ

● 中継同報の結果は送達通知メールで返送されてきます。（☞64 ページ）
● LAN に接続されたインターネットファクスや PC を宛先として、LAN 経由で中継同報を指示することはできません。
● 中継同報の宛先を直接指定するときは、63 ページの【中継指示の例】に従ってください。

中継機能の設定

● システム登録の「142 LAN 中継機能」、「143 LAN 中継結果返送」を登録します。
「142 LAN 中継機能」　　：LAN 経由で中継通信を行う機能を設定します。
「143 LAN 中継結果返送」：中継通信の結果レポート返送の設定をします。

1 ファンクション ⑦ ④ セット を押す

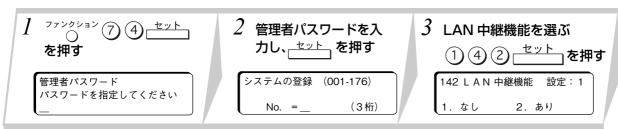
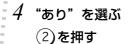
管理者パスワード
パスワードを指定してください
＿

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

システムの登録　(001-176)
No.　=＿　　　　(３桁)

3 LAN 中継機能を選ぶ
① ④ ② セット を押す

142 ＬＡＮ 中継機能　　設定：1
1．なし　　　2．あり

4 “あり”を選ぶ
② を押す

142 ＬＡＮ 中継機能　　設定：2
1．なし　　　2．あり

5 セット を押す
・LAN 結果返送の登録表示に移ります。

143 ＬＡＮ 中継結果返送 設定：2
1．なし
2．全通信　　3．異常時

6 返送条件を選ぶ
① または ② または ③ を押す

143 ＬＡＮ 中継結果返送 設定：2
1．なし
2．全通信　　3．異常時

・中継結果の返送が不要の時は ① を押します。
・全ての中継通信の結果を返送する時は ② を押します。
・未通信の中継結果だけを返送する時は ③ を押します。

7 セット を押す

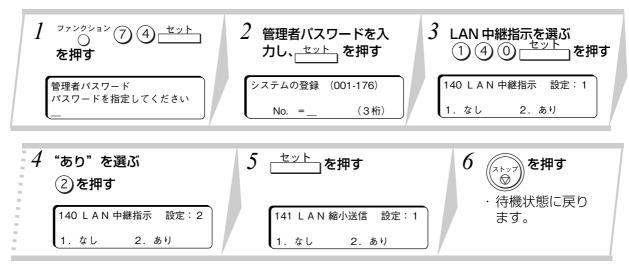
145 ＦＲＯＭ 選択機能　設定：1
1．なし　　　2．あり

8 ストップ を押す
・待機状態に戻ります。

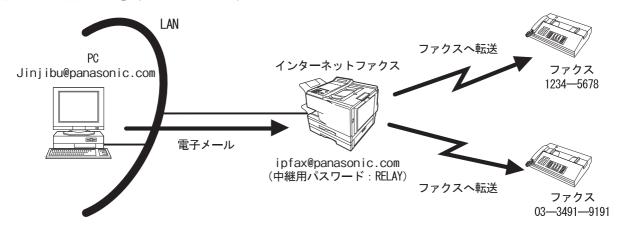
お知らせ

● 設定を途中でやめるときは、ストップを押してください。
● 設定項目の一覧は、114 ページを参照してください。
● SMTP サーバーの転送機能を使わないと、中継機能をご利用になることはできません。

中継送信指示の設定

● システム登録の「140 LAN 中継指示」を“あり”に設定します。
“1：なし”：中継送信指示することはできません。
“2：あり”：LAN 経由の中継送信指示のみ可能になります（一般回線に接続されている中継局に、中継指示することはできません）。

● 設定を途中でやめるときは、ストップを押してください。
● 設定項目の一覧は、114 ページを参照してください。

PC からの中継同報指示

ネットワーク上の PC から送信した電子メールを、中継同報機能を持ったインターネットファクスを経由して、一般回線に接続された複数のファクスへ同報送信することができます。
あらかじめ、中継機能を持ったインターネットファクスに、「中継機能の設定」（☞61 ページ）と「中継局の自局情報登録」（☞101 ページ）を登録しておいてください。

電子メールの宛先に、「中継用パスワード　#　電話番号　@　ホスト名＋中継局のドメイン名」の形式でファクスの電話番号を含めて指定します。中継局は、あらかじめ登録されている「中継許可用ドメイン名」と、中継を指示したインターネットファクスや PC のメールアドレスを比較して一致した場合だけ、中継同報を行います。（指示欄のメールアドレスの右から順に、中継許可用ドメイン名の文字数分の比較を行います。）

【中継指示の例】
［宛先情報］　RELAY # 0W0334919191 @ ipfax01.panasonic.com
［指示機アドレス］　Jinjibu@panasonic.com
　中継用パスワード：RELAY
　宛先の電話番号：0W0334919191（最大 52 桁で、0 ～ 9、*、#、W、T が使用できます。）
　　・　# * 中継宛先（短縮ダイヤル番号）　：# *000 ― # *999
　　・　# * 中継宛先（ワンタッチ番号）　：# *1001 ― # *1050
　　・　# * 中継宛先（ファンクションキー番号）　：# *2001 ― # *2010
　中継許可用ホスト名：ipfax01
　中継許可用ドメイン名：panasonic.com

- 中継用パスワードと電話番号の間には # を入れてください。
- 電話番号と中継局のドメイン名の間には @ を入れてください。
- 電話番号中の W はポーズを表します。
  構内交換機等での発呼などで、必要な場合に挿入してください。
- 電話番号中に T を入れるとプッシュボタン信号に切り替えることができます。回転ダイヤル式回線で、プッシュホン信号に切り替える必要があるときに挿入してください。

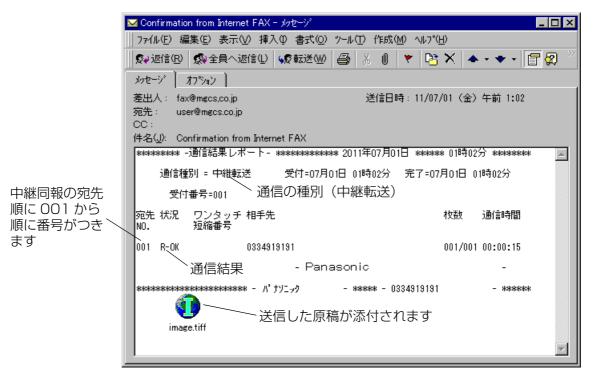
複数の宛先を指定するときは、カンマ（,）で区切って、1 宛先ずつ「中継用パスワード　#　電話番号　@　ホスト名＋中継局のドメイン名」を複数回入力してください。（最大 20 宛先）

【複数宛先の例】
RELAY # 0W0334919191@ipfax01.panasonic.com,RELAY # 0W12345678@ipfax01.panasonic.com

- 誤送信を防ぐために、宛先の電話番号を指定する時は、必ず市外局番から指定してください。
- 中継の宛先にはファクスへの電話番号だけを指定してください。LAN に接続された宛先を一緒に指定すると、その宛先へも中継指示の宛先情報が送られてしまいます。

中継同報の通信結果

■送達通知メール

中継同報通信の結果は、中継機から送達通知メールで返送されてきます。

■管理者宛メール

中継機は、中継同報の指示を受け付けると、登録されている管理者（☞101 ページ）へ、電子メールで通知します。

PC からインターネットファクス経由でファクスへ送信する

Outlook 等の電子メールアプリケーションを使って、TIFF-FX 形式のファイルを添付すれば、複数の宛先のファクスへ中継送信することができます。
この機能をご利用になるには、事前に本機のパラメーター (自局情報の中継パスワード）を正しく設定しておく必要があります。
同時に DNS サーバーへホスト名登録と、適切な SMTP セキュリティ設置をしていただく必要があります。
DNS サーバーへの登録と、セキュリティー設定については、お客様のネットワークを管理しているシステム管理者へお問い合わせください。

PC から中継送信する場合、電子メールアプリケーションの宛先（To）に相当するフィールドには次のように入力します。

(例)

sg-rly#8133111234@singapore.panasonic.co.sg
もしくは
sg-rly#*001@singapore.panasonic.co.sg

sg-rly: 中継用パスワード (本機の自局情報登録の内容と合致させる）
#8133111234: ファクスの番号
と @ の間は直接番号の他、ワンタッチボタン、短縮ボタン等の情報を入力することもできます。
PBX などを利用して内線から外線へ発信する際にポーズが必要な場合は、ハイフン "-" をファクス番号の部分に入力してください。

#*000 ～ #*999: 短縮ボタン
#*1001 ～ #*1050: ワンタッチボタン
#*2001 ～ #*2010: ファンクション F1 ～ F10

@ のあとには DNS サーバーへ登録されたホスト名とドメイン名が入ります。
中継送信が完了すると、中継結果を通信ジャーナルとして PC へ返送します。
これにより、中継結果を確認することができます。

TIFF コンバーターは、インターネットファクスが受信可能な TIFF ファイル形式へ変換するアプリケーションです。
MS-Word、Excel などで作成されたファイルを、中継機能を使ってファクスへ送信される場合には、あらかじめ TIFF コンバーターを使って TIFF 形式のファイルへ変換した後に送信してください。
そのまま *.doc、*.xls 形式のファイルを添付して送信することはできません。

変換する時の解像度は、通常 200 dpi を選択してください。
400 dpi は、あらかじめ受信相手側が 400 dpi 処理能力を保有していることがわかっている時に使用します。

MAPI アプリケーションは、TIFF ファイルへ変換後、MAPI を使って電子メールアプリケーションを自動的に起動するアドインプログラムです。
MAPI に対応した電子メールアプリケーションと連動することにより、MS-Word、Excel 等のアプリケーションから印刷を行う感覚で、インターネットファクスへ送信することができます。
TIFF コンバータ並びに MAPI アプリケーションは、以下の URL からダウンロードすることができます。

http://panasonic.biz/doc/fax/download/index.html

自局情報の登録

インターネット通信に必要な、LAN システムの IP アドレス情報などの各種設定を登録します。

18 自局メールアドレスを入れる

自局メールアドレス
abc@mgcs.mei.co.jp_

19 セット を押す

・システム登録の「161 DNS 設定」の設定が“なし”の場合、手順 21 に進みます。

DNSサーバー ＩＰアドレス
_

20 DNS サーバー IP アドレスを入れる

DNSサーバー ＩＰアドレス
172.21.22.1_

21 セット を押す

・システム登録の「170 SMTP 認証」の設定が“なし”の場合、手順 25 に進みます。

SMTP認証名
_

22 SMTP 認証名を入れる

SMTP認証名
ｆａｘ_

23 セット を押す

SMTPパスワード
_

24 SMTP パスワードを入れる

SMTPパスワード
１２３４５_

25 セット を押す

・システム登録の「161 DNS 設定」の設定が“なし”の場合、手順 30 に進みます。

ＰＯＰサーバー ＩＰアドレス
_

26 POP サーバーIP アドレスを入れる

ＰＯＰサーバー ＩＰアドレス
172.21.22.9_

27 セット を押す

ＰＯＰサーバー ＩＰアドレス
ポート番号
１１０

28 POP ポート番号を入れる

ＰＯＰサーバー ＩＰアドレス
ポート番号
１１０_

29 セット を押す

・システム登録の「161 DNS 設定」の設定が“なし”の場合、手順 33 に進みます。

ＰＯＰサーバー名
_

30 POP サーバー名を入れる

ＰＯＰサーバー名
ｆａｘ.ｃｏ.ｊｐ_

31 セット を押す

ＰＯＰサーバー名
ポート番号
１１０

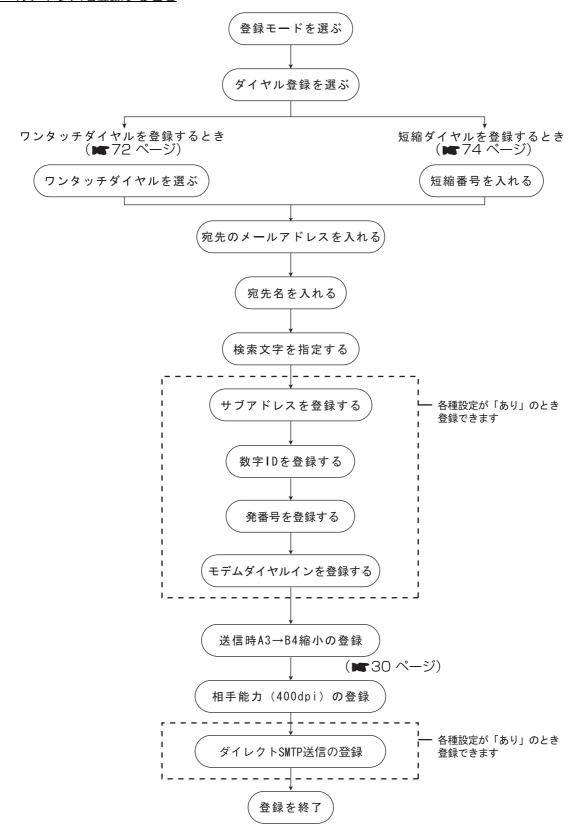
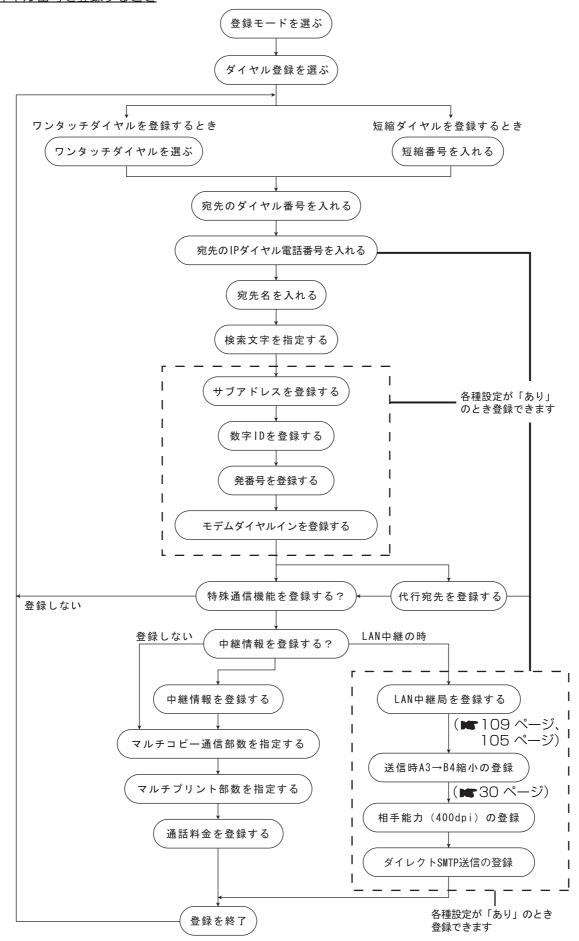
32 POP ポート番号を入れる

ＰＯＰサーバー名
ポート番号
１１０_

33 セット を押す
POPユーザー名
_
34 POP ユーザー名を入れる
POPユーザー名
nagano123_
35 セット を押す
POPパスワード
_
36 POP パスワードを入れる
POPパスワード
12345_
37 セット を押す
ホスト名
_
38 ホスト名を入れる
ホスト名
fax00_
39 セット を押す
デフォルトサブジェクト
_
40 デフォルトサブジェクトを入れる
・サブジェクト名を入れます（取扱説明書ファクス編を参照してください）
・サブジェクト入力は「文字シート」を使ってください。
東京本社_
入力モード：かな漢
41 セット を押す
デフォルトドメイン
_
42 デフォルトドメインを入れる
デフォルトドメイン
Rdnn.mgcs.mei.co.jp_
43 セット を押す
リモートパスワード
_
44 リモートパスワードを入れる
リモートパスワード
1234567_
45 セット を押す
・LAN 中継項目の登録項目に移ります。
・LAN 中継項目については 101 ページを参照してください。
中継用パスワード（01）
_
46 ストップ を押す
・待機状態に戻ります。

ダイヤル登録操作フロー

メールアドレスやダイヤル番号をワンタッチダイヤル（01 ～ 50、F 1 ～ F 10）や短縮ダイヤル（000 ～ 999）に登録して、簡単な操作で相手にダイヤルすることができます。

メールアドレスを登録するとき

ダイヤル番号を登録するとき

ワンタッチダイヤルの登録

よく使う宛先のメールアドレスをワンタッチダイヤル（01 ～ 50、F1 ～ F10）に登録しておくことができます。

1 ファンクション ⑦②　セット　を押す

ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

2 ①を押す

ワンタッチダイヤルの登録
ボタン(1～50、F1～F10)
を押してください

3 ワンタッチボタン（01 ～ 50、F1 ～ F10）を押す

・すでに登録されている内容がある場合、その番号が表示されます。
・まちがえたときや登録済みのボタンを押した場合は、Ⓥ Ⓐを押し、ほかのワンタッチボタンを選べます。

ワンタッチダイヤル登録：01
ダイヤルを登録してください
_　外線

4 F5 インターネット **を押し、宛先のメールアドレス（最大 60 桁）を入れる**

・まちがえた場合は、＜＞を押してカーソルを移動させて クリアー で消してから、入れ直します。

例

ワンタッチダイヤル登録：01
アドレスを登録してください
abc@mgcs.mei.co.jp_　インターネット

5 セット **を押す**

・メールアドレスが登録されます。

ワンタッチダイヤル登録：01
宛先名を登録してください
_

6 宛先名（最大 20 文字）を入れる

・宛先の名前を入れます。
（☛取扱説明書ファクス編を参照してください）
・宛先入力は宛先シートを取り外して、宛先シートの下にある「文字シート」を使ってください。

東京本社_
入力モード：かな漢
■

7 セット **を押す**

・宛先名が登録されます。
・宛先名に登録した先頭の文字が、電話帳検索をするときの検索文字として表示されます。

ワンタッチダイヤル登録：01
検索文字を入力してください
検索文字：と

8 検索文字を確認して セット **を押す**

・検索文字が登録されます。

ワンタッチダイヤル登録：01
サブアドレスを登録してください
_

9 サブアドレスを登録して セット **を押す**

・ルーティングをサブアドレスで行う場合のサブアドレスが登録されます。
・システム登録の「152 SUB ルーティング」（☛114 ページ）の設定が“あり”の場合、登録できます。

ワンタッチダイヤル登録：01
数字 ID を登録してください
_

10 数字IDを登録して セット を押す

・ルーティングを数字 ID で行う場合の数字 ID が登録されます。
・システム登録の「153 数字 ID ルーティング」（☞114 ページ）の設定が“あり”の場合、登録できます。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
発番号を登録してください
_
```

11 発番号を登録して セット を押す

・ルーティングを発信者番号通知で行う場合の発番号が登録されます。
・システム登録の「175 発番号 ルーティング」（☞115 ページ）の設定が“あり”の場合、登録できます。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
モデムダイヤルイン番号
∨、∧を入力してください
```

12 ダイヤルイン番号を選択して セット を押す

・ルーティングを数字モデムダイヤルインで行う場合のダイヤルイン番号が登録されます。
・システム登録の「176 ダイヤルイン ルーティング」（☞115 ページ）の設定が“あり”の場合、登録できます。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
送信時Ａ３→Ｂ４縮小をしますか
１．しない　　２．する
```

13 送信時の A3 原稿を B4 に縮小するかを設定する

・①または②を押します。
（☞30 ページ）
・相手機の能力に合わせて設定します。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
相手能力（400dpi）の登録
１．しない　　２．する
```

14 送信時の画質を設定する

・①または②を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
ダイレクトSMTP登録しますか
１．しない　　２．する
```

15 ダイレクト SMTP 送信を設定する

・①または②を押します。
・システム登録の「172 ダイレクト SMTP」（☞115 ページ）の設定が“あり”の場合、登録できます。

```
ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（１～５０、Ｆ１～Ｆ１０）
を押してください
```

16 続けてワンタッチダイヤルの登録ができます。手順 3 からの操作をします。

17 **を押す**

お知らせ

- 登録を途中でやめるときは ストップ を押してください。
- 宛先名の先頭に50音以外の文字を登録した時は、電話帳検索するときの検索文字が登録されません。手順8で セット を押す前に、ワンタッチダイヤルＦ1(あ) ～ Ｆ10(こ)、01(さ) ～38(ん) を使って検索文字を登録してください。
- ワンタッチの 41 ～ 49 に登録したメールアドレスは、ワンタッチチェーン機能を使用できます。（☞34 ページ）
- 他機種に 400dpi で送信した場合、正常に通信できないことがあります。
  また、複数宛先を行った場合、400dpi の登録が「しない」で設定されている宛先が含まれていると、同報するすべての送信は 400dpi で送信されません。

短縮ダイヤルの登録

よく使う宛先のメールアドレスを 3 桁の短縮番号（000 ～ 999）に登録しておくことができます。

1 ファンクション ⑦ ② セット を押す

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録
```

2 ② を押す

```
短縮ダイヤルの登録 設定数：0000
短縮番号を指定してください
短縮：__      （3桁）
```

3 **短縮番号（000 ～ 999）を押す**

- すでに登録されている内容がある場合、その番号が表示されます。
- まちがえた場合は、Ⅴ Λ を押し、ほかの短縮番号を選べます。

```
短縮ダイヤルの登録    短縮 :001
ダイヤルを登録してください
__                  外線
```

4 **F5 インターネット を押し、宛先のメールアドレス（最大 60 桁）を入れる**

- まちがえたときや登録済みのボタンを押した場合は、＜ ＞ を押してカーソルを移動させて クリアー で消してから、入れ直します。

例

```
短縮ダイヤルの登録    短縮 :001
アドレスを登録してください
def@mgcs.mei.co.jp_  インターネット
```

5 セット を押す

- メールアドレスが登録されます。

```
短縮ダイヤルの登録    短縮 :001
宛先名を登録してください
__
```

6 **宛先名（最大 20 文字）を入れる**

- 宛先の名前を入れる。
  （☛取扱説明書ファクス編を参照してください）
- 宛先入力は宛先シートを取り外して、宛先シートの下にある「文字シート」を使ってください。

```
東京本社__
  入力モード：かな漢
■
```

7 セット を押す

- 宛先名が登録されます。
- 宛先名に登録した先頭の文字が、電話帳検索をするときの検索文字として表示されます。

```
短縮ダイヤルの登録    短縮 :001
検索文字を入力してください
検索文字：と
```

8 **検索文字を確認して セット を押す**

- 検索文字が登録されます。

```
短縮ダイヤルの登録    短縮 :001
サブアドレスを登録してください
_
```

9 **サブアドレスを登録して セット を押す**

- ルーティングをサブアドレスで行う場合のサブアドレスが登録されます。
- システム登録の「152 SUB ルーティング」（☛ 114 ページ）の設定が“あり”の場合、登録できます。

```
短縮ダイヤルの登録    短縮 :001
数字 ID を登録してください
_
```

10 数字IDを登録して セット を押す

・ルーティングを数字 ID で行う場合の数字 ID が登録されます。
・システム登録の「153 数字 ID ルーティング」（☞114 ページ）の設定が“あり”の場合、登録できます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮 :001
発番号を登録してください
_
```

11 発番号を登録して セット を押す

・ルーティングを発信者番号通知で行う場合の発番号が登録されます。
・システム登録の「175 発番号 ルーティング」（☞115 ページ）の設定が“あり”の場合、登録できます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮 :001
モデムダイヤルイン番号
∨、∧を入力してください
```

12 ダイヤルイン番号を選択して セット を押す

・ルーティングを数字モデムダイヤルインで行う場合のダイヤルイン番号が登録されます。
・システム登録の「176 ダイヤルイン ルーティング」（☞115 ページ）の設定が“あり”の場合、登録できます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮 :001
送信時 A 3→ B 4縮小をしますか
1．しない　　2．する
```

13 送信時の A3 原稿を B4 に縮小するかを設定する

・①または②を押します。
（☞30 ページ）
・相手機の能力に合わせて設定します。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮 :001
相手能力（400dpi）の登録
1．しない　　2．する
```

14 送信時の画質を設定する

・①または②を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮 :001
ダイレクト SMTP 登録しますか
1．しない　　　2．する
```

15 ダイレクト SMTP 送信を設定する

・①または②を押します。
・システム登録の「172 ダイレクト SMTP 送信」（☞115 ページ）の設定が“あり”の場合、登録できます。

```
短縮ダイヤルの登録 設定数：0001
短縮番号を指定してください
短縮：__　　　（３桁）
```

16 続けて短縮ダイヤルの登録ができます。手順 3 からの操作をします。

17 ストップ を押す

お知らせ

- 登録を途中でやめるときは ストップ を押してください。
- 宛先名の先頭に50音以外の文字を登録した時は、電話帳検索するときの検索文字が登録されません。手順8で セット を押す前に、ワンタッチダイヤルＦ１(あ) ～Ｆ10(こ)、01(さ) ～38(ん) を使って検索文字を登録してください。
- 他機種に 400dpi で送信した場合、正常に通信できないことがあります。
また、複数宛先を行った場合、400dpi の登録が「しない」で設定されている宛先が含まれていると、同報するすべての送信は 400dpi で送信されません。

登録済みメールアドレスの変更

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている内容を変更します。

1 ファンクション ◯ ⑦ ② セット を押す

ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

2 ① または ② を押す

・①：ワンタッチダイヤルを変更する場合

・②：短縮ダイヤルを変更する場合

例：「1」

ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1～50、F 1～F10)
を押してください

3 **変更するワンタッチダイヤル（01～50、F1～F10）または短縮ダイヤルの番号（000～999）を押す**

・登録されている内容が表示されます。

例：「ワンタッチ：01」

ワンタッチダイヤル登録：０１
アドレスを登録してください
abc@mgcs.mei.co.jp　ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ

4 クリアー を押す

・表示されている内容が消去されます。

これから先は、「ワンタッチダイヤルの登録」（☞72 ページ）または「短縮ダイヤルの登録」（☞74 ページ）の手順４からの操作をします。

登録済みメールアドレスの消去

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録されている内容を消去します。

1 ファンクション ⑦ ② セット **を押す**

ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録

2 ① **または** ② **を押す**

・①：ワンタッチダイヤルを消去する場合

・②：短縮ダイヤルを消去する場合

例：「1」

ワンタッチダイヤルの登録
ボタン（1～50、F 1～F10)
を押してください

3 **消去するワンタッチダイヤル（01～50、F1～F10）または短縮ダイヤルの番号（000～999）を押す**

・登録されている内容が表示されます。
例：「ワンタッチ：01」

ワンタッチダイヤル登録：01
アドレスを登録してください
abc@mgcs.mei.co.jp　インターネット

4 クリアー **を押す**

・表示されている内容が消去されます。

5 セット ストップ **を押す**

・指定したワンタッチダイヤルが消去されます。

・セット を押したあとに、手順3からの操作を繰り返せば、続けてメールアドレスの消去ができます。

お知らせ

● ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルの変更および消去を途中でやめるときは、ストップを押します。

メールリモート登録

この機能は簡単に自局情報のインターネットパラメーター、ワンタッチ、短縮ダイヤル、通信管理レポート等を、PC から本機へ電子メールを送信することにより登録もしくは内容の取り出しをすることができます。
件名 "Subject" をコマンドラインフィールドとして利用することにより、本機は次の表のコマンドを処理することが出来ます。

	"Subject" コマンドライン	機　　能
1	#set parameters(password)#	インターネットパラメーターの登録
2	#get parameters(password)#	インターネットパラメーターの取り出し
3	#set abbr(password)#	ワンタッチ、短縮ダイヤルの登録
4	#get abbr(password)#	ワンタッチ、短縮ダイヤルの取り出し
5	#get jnl(password)#	現在の通信管理レポートの取り出し

・"password" は本機の自局情報の登録設定項目に登録されたリモートパスワード（例：123456789）のことです。パスワードの両端はカッコ "()" で囲まなければなりません。コマンドの両端は # で囲まなければなりません。
・コマンドラインは半角文字で入力しなければなりません。

インターネットパラメーターのメールリモート登録

この機能は、PC から電子メールを本機へ送信することにより便利にしかも簡単にインターネットパラメーターを設定することができます。
次のパラメーターが、PC からリモートで登録できます。その他のパラメーターは、本体側で自局情報の登録をしなければなりません。

－ＦＲＯＭ選択　(ユーザー名：最大 20 文字まで)
－ドメイン名 (中継許可ドメイン名：最大 30 文字まで)
－デフォルトドメイン
－管理者メールアドレス
－リモートパスワード
－中継用パスワード

本機は、PC による電子メールの件名 "Subject" に入力されたコマンドを解析し、インターネットパラメーターの登録または取り出しを実行します。

● データの登録をするには :#set parameters(password)# と入力する。
パスワードは、本機のユーザーパラメーターで設定したリモートパスワードです。
(例 :1234567879)
このコマンドラインは、初めてご利用になる場合を想定していますので、すでにデータが設定されている場合は使用しないでください。現在の設定値は削除され上書きされてしまいます。その場合は、次のページ 81 ～ 83 に説明する取り出しを最初に実行してください。
● データの取り出しをするには :#get parameters(password)# と入力します。

お知らせ

● この機能を利用するには、システム登録の 「158 メールリモート登録」を "2: あり " に変更する必要があります。（☞ 100 ページ)
● 本機は、PC からの電子メールを受信しますが、受信したデータの内、英数字、ひらがな、かたかなと第 1、2 水準の漢字が記録可能です。

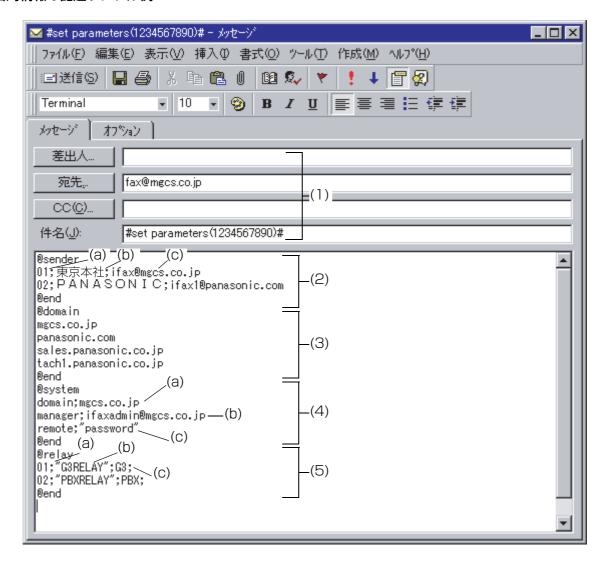
インターネットパラメーターを初めて登録する

電子メール本文にテキストで記述し本機の電子メールアドレスへ送信します。件名 "Subject" コマンドラインは次のとおりです。

#set parameters(password)#:
ここでいう password は本機の自局情報にあるリモートパスワードのことです。セキュリティー確保のために、リモートパスワードは常に設定してください。

お知らせ

すでに登録済みデータがある場合は、現在の設定値が上書きされてしまいますので、上記のコマンドを実行しないでください。まず最初に、自局情報（☛81 ～ 86 ページ）の取り出しと編集を行って、バックアップした後に実行してください。

自局情報の記述サンプル例

(1) 宛先 (To) ： 本機のメールアドレス
差出人 (From) ： 新規電子メールメッセージを作成する時、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトの電子メールアドレスが入っています。このフィールドは、インターネットパラメーターの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
件名 (Subject) ： データを登録するには＃ set parameters(password) ＃ と記述してください。

(2) @ sender ～@ end
： 発信者（FROM）情報を (2) の@ sender ～@ end の間に記述します。
24 個以内で発信者選択用ユーザー名称、メールアドレスを登録します。
各データの区切りにセミコロン (;) を記入します。以降のフィールドが空白の場合は、各区切りごとにセミコロン (;) を挿入します。
各発信者選択用の記述データは、単一行で完結する必要があります。
構文は <発信者選択番号>；<ユーザー名称>；<メールアドレス>

(a)01 ～ 24：発信者選択番号の表示
(b) ユーザー名称 （かな漢字英数字 20 文字）
(c) メールアドレス（最大 60 桁）

(3) @ domain ～@ end
： ドメイン名を (3) の@ domain ～@ end の部分へ記述します。
インターネット ＦＡＸ から 一般 ＦＡＸ へ中継送信を許可するドメイン名を最大 10 個まで登録します。

(4) @ system ～@ end
： インターネットパラメーターを (4) の@ system ～@ end の部分へ設定します。
登録するインターネットパラメーターは次のとおりです。

(a) デフォルトドメイン（最大 30 桁）
構文は domain；<デフォルトドメイン>
(b) 管理者メールアドレス（最大 60 桁）
構文は manager；<管理者のメールアドレス>
(c) リモートパスワード（最大 10 桁）
構文は remote；<リモートパスワード>
例にならって " " でリモートパスワードを囲む必要があります。

(5) @ relay ～@ end
： 中継用パスワードを (5) の@ relay ～@ end の部分へ記述します。5 個の中継用パスワードが登録できます。
各データの区切りにセミコロン (;) を記入します。
構文は <中継用パスワード番号>；" <中継用パスワード> "；<中継通信モード>；

(a) 01 ～ 05：中継用パスワード番号の表示
(b) 中継用パスワード （最大 10 桁）
例にならって " " で中継用パスワードを囲む必要があります。
(c) 中継時の通信モード
指定する通信モードに対して、下記指定文字を使用する必要があります。

中継通信モード	指定文字
外線	G3
内線	PBX
G4 ＊	G4
G3（I） ＊	G3I

＊ G4/G3 通信ユニット通信オプションを増設したときのみ有効となります。

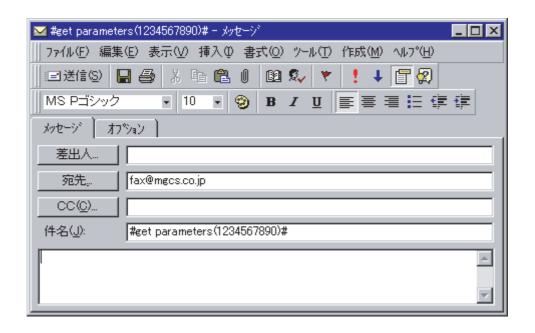
お知らせ

● 「ユーザー名称」以外は半角文字で入力してください。
● 以下の場合、電子メール経由での登録はできません。
・通信予約がある場合
・LAN ボードが動作中の場合
● ご利用のメールアプリケーションによってはある一定の桁数に達すると、本文途中で自動的に改行を行うものがあります。その場合は、自動改行送りを無効にする、一行あたりの桁数を増やす等の対応をしてください。

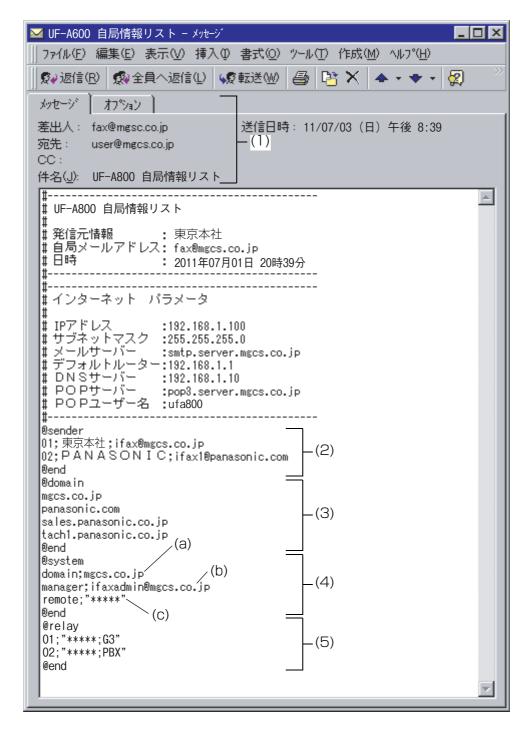
インターネットパラメーターの取り出し

現在のインターネットパラメーターをの取り出しをするには、本機の電子メールアドレスへ、以下に示すコマンドラインを件名 "Subject" に記述してテキストメールを送信します。

#get parameters(password)#:
パスワードは、本機の自局情報へ登録されたリモートパスワードのことです。セキュリティー確保のために、リモートパスワードは常に設定してください。CC, Bcc などの欄は空欄で送信してください。

インターネットパラメーターの電子メール例

(1) 宛先 (To) : 本機の電子メールアドレス
差出人 (From) : 新規の電子メールメッセージを作成するとき、このフィールドは通常は表示されませんが、デフォルト電子メールアドレスが入っています。このフィールドは、インターネットパラメーターの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
件名 (Subject) : データの取り出しをするには #get parameters(password)# と記述してください。

インターネットパラメーターの取り出し要求を受信した後、本機は "From" の内容を参照して電子メールにてインターネットパラメーターをテキストメッセージとして返信します。

インターネットパラメーター電子メール例（UF-A800 の場合）

(1) 宛先 (To) ： PC の電子メールアドレス
差出人 (From) ： 本機の電子メールアドレス
件名 (Subject) ： 自局情報リスト

(2) @sender ～ @end
： 発信者情報を (2) の @sender ～ @end の部分へ表示します。
登録された 24 個以内の発信者選択用ユーザー名、電子メールアドレスを表示します。

(3)　@domain ～ @end

：設定されているドメイン名を (3) の @domain ～ @end の部分へ表示します。
最大 10 個までのインターネットファクスからファクスへ中継送信を許可するドメイン名を表示します。

(4)　@system ～ @end

：設定されているインターネットパラメーターを（4）の @system ～ @end の部分へ表示します。
表示されるインターネットパラメーターは次のとおりです。

(a) デフォルトドメイン (最大 60 桁まで)
(b) 管理者用電子メールアドレス
(c) リモートパスワード
リモートパスワードは、「＊」で表示されます。

(5)　@relay ～ @end

：設定されている中継用パスワードを (5) の @relay ～ @end の部分へ表示します。
中継用パスワードは、「＊」で表示されます。

バックアップまたは取り出しをしたインターネットパラメーターの編集

インターネットパラメーターを取り出した後、バックアップのために、その電子メールをテキストファイル（.txt) として PC 上に保存してください。

インターネットパラメーターの変更を行うには以下の手順に従います。

1. 新規メッセージの作成を行い、To, From, Subject の各欄へ (1) のように記入します。
   宛先 (To）　：　本機の電子メールアドレス
   差出人 (From)　：　新規メッセージを作成する時に表示されません。通常このフィールドには、あらかじめ設定されているデフォルトの電子メールアドレスが入ります。
   件名 (Subject)　：　データ登録のためには #set parameters(password)# と記述してください。
2. バックアップされたインターネットパラメーターのテキストファイルを開いて、新規メッセージの本文へ貼り付けます。
3. エラーとならないように、電子メール本文にヘッダー情報がある場合は削除してください。"#" に続く情報は削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。
4. 設定内容の編集を行います。
5. すべて完了したら、ファイルを別名で保存を選択して、拡張子 .txt でバックアップ用として保存してください。
6. 編集されたインターネットパラメーターを本機へ電子メールにて送信します。

本機のインターネットパラメーター電子メール例（UF-A800 の場合）

前ページの例では、管理者のメールアドレス、中継用パスワード、およびリモートパスワードを変更しました。

(1) ～(5) ：「インターネットパラメーターを初めて登録する」（☛80 ページ）を参照してください。

(6) ：本機に電子メールを送信してインターネットパラメーターを再設定する前に、このヘッダを削除する必要があります。" # " 記号に続く情報は無視されます。したがって、" # " 以降は削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。

ワンタッチ／短縮ダイヤルのメールリモート登録

この機能を使用して、ご使用の PC から本機へ電子メールを送信することにより、ワンタッチと短縮ダイヤルの変更、バックアップ、または再設定を簡単に行うことができます。

本機は、PC による電子メールの件名 "Subject" の行に入力されたコマンドを解析し、ワンタッチまたは短縮ダイヤルの登録または取り出しを実行します。

電子メールの件名 "Subject" の行には、次の 2 種類のコマンドを入力できます。

1) データを設定するには、#set abbr(password)# と入力します。
この pasword は、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです (例 : 123456789)。このコマンドを初めて使用するときは、未使用のワンタッチ／短縮ダイヤルを自由に設定できます (その前にワンタッチ／短縮ダイヤルのデータリストを受信する必要はありません)。希望のワンタッチ／短縮ダイヤルにすでにデータが登録されている場合は、このコマンドを送信すると、既存の設定値が上書きされます。したがって、既存のワンタッチ／短縮ダイヤルを編集する場合は、このコマンドではなく、以下に説明する受信コマンドを使用することをお勧めします（☛92 ～ 98 ページ）。

2) データを受信するには、#get abbr(password)# と入力します。

● この機能を有効にするには、システム登録の「158 メールリモート登録」を "2: あり " に変更する必要があります（☛100 ページ）。

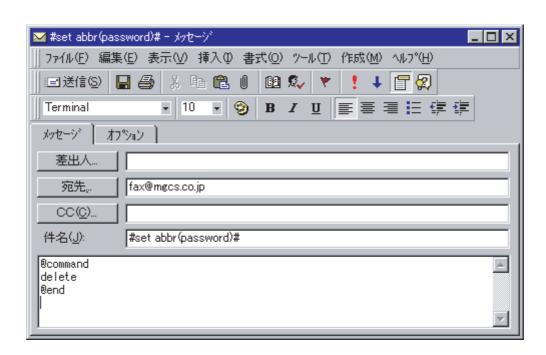
ワンタッチ／短縮ダイヤル全体の削除

ワンタッチ／短縮ダイヤルのデータ全体を削除するには、電子メールの件名 "Subject" の行に以下のコマンドを入力します。

#set abbr(password)#:
この password は、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです。このコマンドを送信する前に、92 ～ 98 ページで説明するデータの取り出しと編集の手順に従って、PC への既存データの受信とバックアップを実行してください。

本機のワンタッチ／短縮ダイヤルのデータ全体を削除する場合は、電子メールの本文に以下のコマンドを入力します。

@command
delete
@end

このコマンドを @begin ～ @end ブロックの前に挿入して、ワンタッチ／短縮ダイヤルのデータ全体を削除し、新しいデータでワンタッチ／短縮ダイヤルを再設定することもできます。
この方法を使用すれば、本機から返信される電子メールに「上書き警告メッセージ」は表示されません。

お知らせ

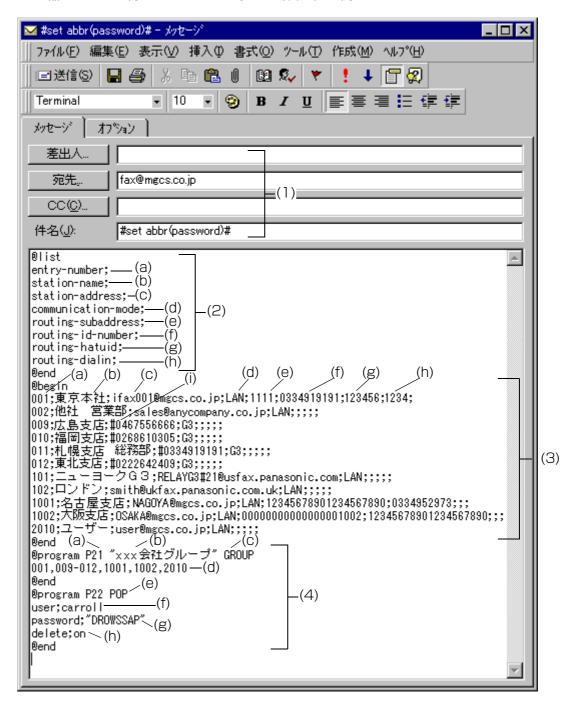
● "delete" を行った場合、ワンタッチボタンの内容は削除され、お買い上げ時の状態となります。

ワンタッチ／短縮ダイヤルを初めて登録する

電子メールの本文にテキストで記述し、本機の電子メールアドレスに送信します。電子メールの件名 "Subject" の行に、次のように入力します。

#set abbr(password)#:
この password は、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです。

ワンタッチ／短縮ダイヤルを初めて登録する場合の記述例を以下に示します。

ワンタッチ／短縮ダイヤルを初めてリモート登録する場合の記述例

(1) 宛先 (To) : 本機のメールアドレス
差出人 (From) : 新規電子メールメッセージを作成する時、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトの電子メールアドレスが入っています。このフィールドは、ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
件名 (Subject) : データを登録するには、#set abbr(password)# と記述してください。

(2) @list ～ @end
: @list と @end の間に @begin ～ @end の中に記述する内容を指定します。

(a)entry − number：登録番号（必ず記述してください）
(b)station − name：宛先名称（必要なとき入れます）
(c)station − address：電子メールアドレスまたは電話番号（必ず記述してください）
(d)communication − mode：通信モード（必要なとき入れます）
(e)routing − subaddress：ルーティングサブアドレス（必要なとき入れます）
(f)routing − id − number：ルーティング数字 ID 番号（必要なとき入れます）
(g)routing − hatuid：ルーティング発番号（必要なとき入れます）
(h)routing − dialin：ルーティングモデムダイヤルイン（必要なとき入れます）

(3) @begin ～ @end
: @begin ～ @end の間にワンタッチ／短縮ダイヤルのデータを記述します。
各データフィールドの区切りにセミコロン (;) を記入します。以降のフィールドが空白の場合は、各区切りごとにセミコロン (;) を挿入します。
各記述データは、単一行で完結する必要があります。
@list ～ @end で記述した内容で構文を指定します。@begin の前に @list ～ @end を使って構文を指定していない場合は、デフォルトの構文は次のとおりになります。
＜登録番号＞；＜宛先名称＞；＜宛先のアドレス＞；＜通信モード＞；＜ルーティングサブアドレス＞；＜ルーティング数字ID＞；＜ルーティング発番号＞；＜モデムダイヤルイン番号＞

(a) 登録番号 ：登録されるワンタッチ、短縮ダイヤル番号
000 ～ 999 ：000 ～ 999 の短縮ダイヤル番号を示します。（UF-A700 は最大 200 個）
1001 ～ 1050 ：01 ～ 50 のワンタッチ番号を示します。
2001 ～ 2010 ：ワンタッチダイヤルとして登録される、ファンクションキー F1 ～ F10 を示します。
(b) 宛先名称 ：登録される宛先名称 （かな漢字英数字 20 文字）
(c) 宛先のアドレス ：電子メールアドレス（最大 60 桁）または電話番号（最大 52 桁）
(d) 通信モード ：通信モードを下記指定文字で登録します。

通信モード	指定文字
外線	G3
内線	PBX
G4 ＊	G4
G3I（I） ＊	G3I
LAN	LAN

＊ G4/G3 通信ユニット通信オプションを増設したときのみ有効となります。
(e) ルーティングサブアドレス：ルーティングに使用されるサブアドレス。（最大 20 桁）
(f) ルーティングＩＤ番号：ルーティングに使用される数字ID番号。（最大20桁）
(g) ルーティング発信者番号：ルーティングに使用される発信者番号。（最大20桁）
(h) ルーティングモデムダイヤルイン番号：ルーティングに使用されるダイヤルイン番号。（最大 20 桁）
（システム登録の「176 ダイヤルインルーティング」で登録した内容と一致しない場合は、無効になります。）
(i) 電話番号の場合、シャープ記号 (#) の後に入力します。

(4) @program ～ @end
: @program と @end の間にグループダイヤルまたは POP 手動受信キーとして登録されるワンタッチのデータを記述します。

(a) ワンタッチ ：P01 ～ P50、F1 ～ F10（GROUP のみ登録可能）
(b) グループダイヤル名称：登録されるグループダイヤル名称（かな漢字英数字 20 文字）例にならって " " で囲む必要があります。
(c) GROUP ：ワンタッチをグループダイヤルとして設定するための構文。

（d） 登録番号 ：登録されるワンタッチ、短縮ダイヤル番号
000 〜 999 ：000 〜 999 の短縮ダイヤル番号を示します。（UF-A700 は最大 200 個）
1001 〜 1050 ：01 〜 50 のワンタッチ番号を示します。
2001 〜 2010 ：ワンタッチダイヤルとして登録されている、ファンクションキーＦ1 〜 Ｆ10 を示します。
（e） POP ：ワンタッチを POP 手動受信キーとして登録するための構文。
（f） POP ユーザー名 ：登録される POP ユーザー名（最大 40 桁の英数字）
（g） POP パスワード ：登録される POP パスワード（最大 10 桁の英数字）
（h） 電子メールの受信後に POP サーバー上の電子メールを削除するかどうかを設定します。
(off：削除しません　on：削除します）

お知らせ

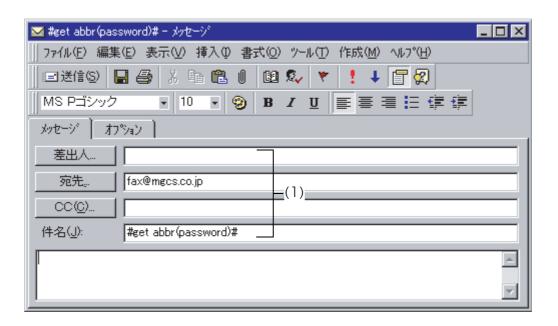
●「宛先名称」以外は半角文字で入力してください。
●以下の場合、電子メール経由での登録はできません。
・通信予約がある場合
・LAN ボードが動作中の場合
●電子メールで登録を行った後、登録結果の電子メールが返信されます。
●ご利用のメールアプリケーションによってはある一定の桁数に達すると、本文途中で自動的に改行を行うものがあります。その場合は、自動改行送りを無効にする、一行あたりの桁数を増やす等の対応をしてください。

ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの取り出し

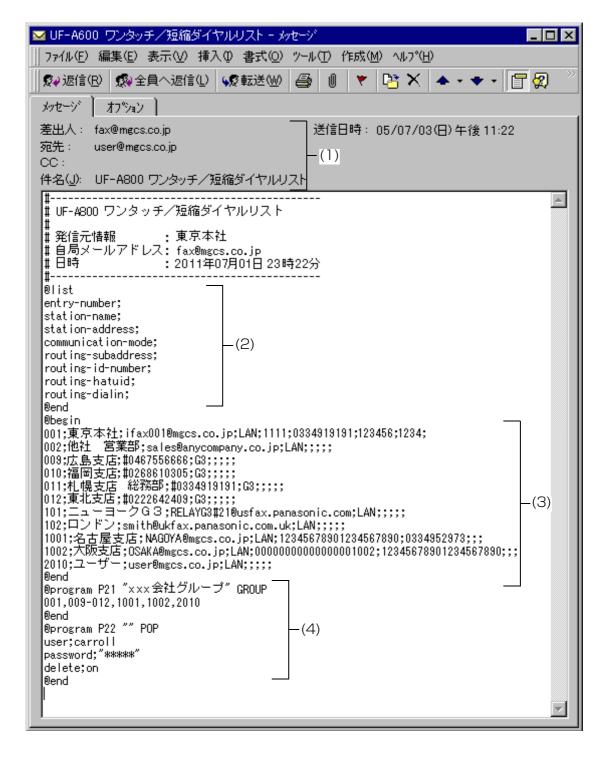
現在のワンタッチ／短縮ダイヤルの取り出しをするには、件名 "Subject" に以下のコマンドを入力した電子メールを、本機の電子メールアドレスに送信します。

#get abbr(password)#:
この password は、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです (例 : 123456789)。

CC、Bcc と電子メールの本文は空欄にしてください。

ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの取り出しをする場合の電子メールの例

(1)　宛先 (To)　:　本機の電子メールアドレス。
差出人 (From)　:　新規の電子メールメッセージを作成するとき、このフィールドは通常は表示されませんが、デフォルトの電子メールアドレスが入っています。このフィールドは、ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
件名 (Subject)　:　データの取り出しをするには、#get abbr(password)# と入力します。

本機は、現在のワンタッチ／短縮ダイヤルデータの取り出しを要求する電子メールの受信後、本文にワンタッチ／短縮ダイヤルの情報が記述された電子メールを、"From:" の行で指定されたアドレスに返信します。

本機のワンタッチ／短縮ダイヤルの電子メール例（UF-A800 の場合）

(1) 宛先 (To) ： PC のメールアドレス。
差出人 (From) ： 本機の電子メールアドレス。
件名 (Subject) ： ワンタッチ／短縮ダイヤルリスト。

(2) @list ～ @end ブロック
： (2) の部分の @list と @end の間に、@begin ～ @end で使用している構文を表示します。

(3) @begin ～ @end ブロック
： (3) の部分の @begin と @end の間に、本機に登録されている、ワンタッチ、短縮ダイヤルを表示します。

(4) @program ～ @end ブロック
： (4) の部分の @program と @end の間に、本機にグループダイヤルまたは POP 手動受信として登録されているワンタッチを表示します。

バックアップまたは取り出しをしたワンタッチ／短縮ダイヤルの編集——

ワンタッチ／短縮ダイヤルのデータを記録した電子メールを本機から受信した後、バックアップのために、その電子メールをテキストファイル (.txt) として PC 上に保存してください。

ワンタッチ／短縮ダイヤルのデータを変更するには、以下の手順に従います。

1. 新規メッセージの作成を行い、To、From、Subject の各欄へ (1) のように記入します。
   宛先 (To)　　: 本機の電子メールアドレス。
   差出人 (From) : 新規メッセージを作成する時は表示されません。通常このフィールドには、あらかじめ設定されているデフォルトの電子メールアドレスが入ります。
   件名 (Subject): データの登録のためには、#set abbr(password)# と記述してください。

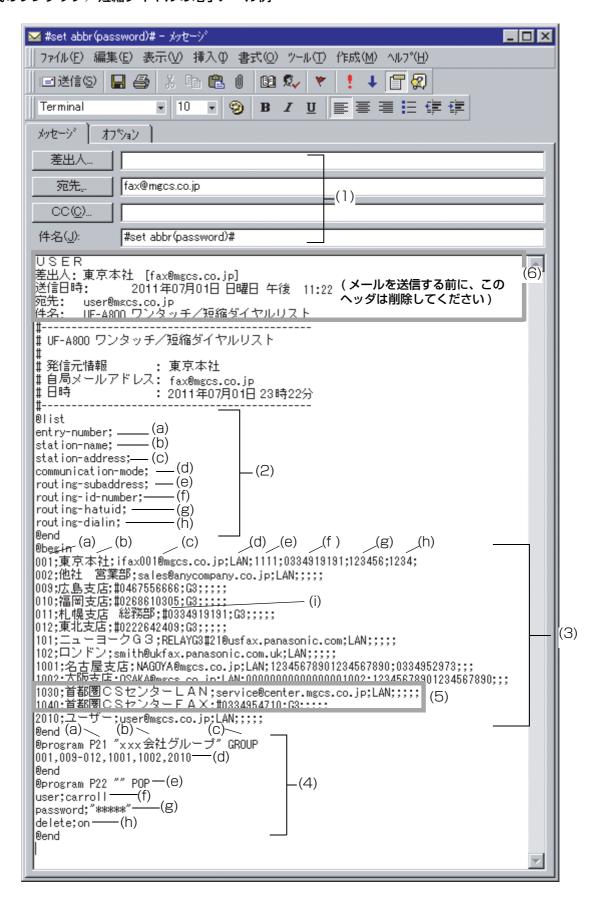
2. バックアップされたワンタッチ／短縮ダイヤルのテキストファイルを開いて、新規メッセージの本文へ貼り付けます。

3. エラーとならないように、電子メール本文にヘッダー情報がある場合は削除してください。"#" に続く情報は削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。

4. ワンタッチ／短縮ダイヤルの編集を行います。

5. すべて完了したら、ファイルを別名で保存して、拡張子 .txt でバックアップ用として保存してください。

6. 編集されたワンタッチ／短縮ダイヤルを本機へ電子メールにて送信します。

本機のワンタッチ／短縮ダイヤルの電子メール例

(1)　宛先 (To)　：本機のメールアドレス
差出人 (From)　：新規電子メールメッセージを作成する時、通常このフィールドは表示されませんが、デフォルトの電子メールアドレスが入っています。このフィールドは、ワンタッチ／短縮ダイヤルデータの受信とエラーメッセージの通知に使用されます。
件名 (Subject)　：データを登録するには、#set abbr(password)# と記述してください。

(2) @list 〜 @end
：@list と @end の間に @begin 〜 @end の中に記述する内容を指定します。
(a)entry − number：登録番号（必ず記述してください）
(b)station − name：宛先名称（必要なとき入れます）
(c)station − address：電子メールアドレスまたは電話番号（必ず記述してください）
(d)communication − mode：通信モード（必要なとき入れます）
(e)routing − subaddress：ルーティングサブアドレス（必要なとき入れます）
(f)routing − id − number：ルーティング ＩＤ 番号（必要なとき入れます）
(g)routing − hatuid：ルーティング発番号（必要なとき入れます）
(h)routing − dialin：ルーティングモデムダイヤルイン（必要なとき入れます）

(3) @begin 〜 @end
：@begin 〜 @end の間にワンタッチ／短縮ダイヤルのデータを記述します。
各データフィールドの区切りにセミコロン (；) を記入します。以降のフィールドが空白の場合は、各区切りごとにセミコロン (；) を挿入します。
各記述データは、単一行で完結する必要があります。
@list 〜 @end で記述した内容で構文を指定します。@begin の前に @list 〜 @end を使って構文を指定していない場合は、デフォルトの構文は次のとおりになります。
＜登録番号＞；＜宛先名称＞；＜宛先のアドレス＞；＜通信モード＞；＜ルーティングサブアドレス＞；＜ルーティング数字ID＞；＜ルーティング発番号＞；＜モデムダイヤルイン番号＞

(a)　登録番号　：登録されるワンタッチ、短縮ダイヤル番号
000 〜 999　：000 〜 999 の短縮ダイヤル番号を示します。（UF-A700 は最大 200 個）
1001 〜 1050　：01 〜 50 のワンタッチ番号を示します。
2001 〜 2010　：ワンタッチダイヤルとして登録される、ファンクションキー F１ 〜 F10 を示します。
(b)　宛先名称　：登録される宛先名称 （かな漢字英数字 20 文字）
(c)　宛先のアドレス　：電子メールアドレス（最大 60 桁）または電話番号（最大 52 桁）
(d)　通信モード　：通信モードを下記指定文字で登録します。

通信モード	指定文字
外線	G3
内線	PBX
G4 ＊	G4
G3（Ｉ）　＊	G3I
LAN	LAN

＊ G4/G3 通信ユニット通信オプションを増設したときのみ有効となります。
(e)　ルーティングサブアドレス：ルーティングに使用されるサブアドレス。（最大 20 桁）
(f)　ルーティング数字ID：ルーティングに使用される数字ID番号。（最大20桁）
(g)　ルーティング発信者番号：ルーティングに使用される発信者番号。（最大20桁）
(h)　ルーティングモデムダイヤルイン番号：ルーティングに使用されるダイヤルイン番号。（最大 20 桁）
(i)　電話番号の場合、シャープ記号 (#) の後に入力します。

(4) @program 〜 @end
：@program と @end の間にグループダイヤルまたは POP 手動受信キーとして登録されるワンタッチのデータを記述します。
(a)　ワンタッチ　：P01 〜 P50、F１ 〜 F10（GROUP のみ登録可能）
(b)　グループダイヤル名称：登録されるグループダイヤル名称（かな漢字英数字 20 文字）例にならって " " で囲む必要があります。
(c)　ＧＲＯＵＰ　：ワンタッチをグループダイヤルとして設定するための構文。
(d)　登録番号　：登録されるワンタッチ、短縮ダイヤル番号
000 〜 999　：000 〜 999 の短縮ダイヤル番号を示します。（UF-A700 は最大 200 個）
1001 〜 1050　：01 〜 50 のワンタッチ番号を示します。
2001 〜 2010　：ワンタッチダイヤルとして登録されている、ファンクションキー F１ 〜 F10 を示します。
(e)　POP　：ワンタッチを POP 手動受信キーとして登録するための構文。

（f） POP ユーザー名 ：登録される POP ユーザー名（最大 40 桁の英数字）
（g） POP パスワード ：登録される POP パスワード（最大 10 桁の英数字）
（h） 電子メールの受信後に POP サーバー上の電子メールを削除するかどうかを設定します。
（ off：削除しません on：削除します）

(5) ： これらの２つのワンタッチダイヤルがリストに追加されました。

(6) ： 本機に電子メールを送信してワンタッチ／短縮ダイヤルを再設定する前に、このヘッダを削除する必要があります。"#" 記号に続く情報は無視されます。したがって、"#" 以降は削除しても、そのまま残しておいてもかまいません。

通信管理レポートの取り出し

通信管理レポートの取り出しをするには、件名 "Subject" に以下のコマンドを入力した電子メールを、本機の電子メールアドレスに送信します。

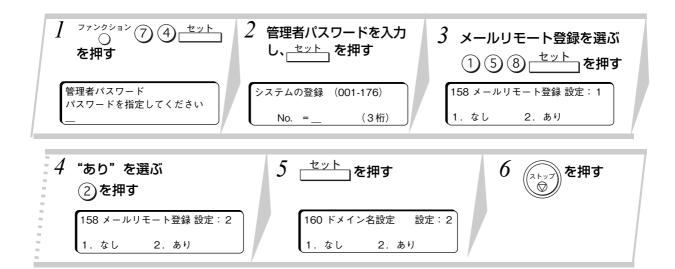
#get jnl(password)#:
この password は、本機の自局情報に登録されたリモートパスワードです (例 : 123456789)。

通信管理レポートは、この電子メールを送信した PC に返信されます。

通信管理レポートの取り出しをした後、固定幅のフォント (例えば、ターミナルやクーリエ) に変換して、取り出した通信管理レポートの内容を PC 上で位置合わせしてください。
本機の自局情報に登録された管理者の電子メールアドレスに、通信管理レポートを送信したことを知らせる別の電子メール ("Internet Fax Return Receipt") が送信されます。

お知らせ

● この機能を有効にするには、システム登録の「158 メールリモート登録」を "2: あり " に変更する必要があります（☛ 100 ページ）。
● システム登録の「013 通信管理レポート」と「157 管理レポート送信」の設定が共に "2: あり " の場合、通信管理レポートは自動で「157 管理レポート送信」にて登録した宛先に送信されます。

メールリモート登録の設定

- 設定を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- 設定項目の一覧は、114 ページを参照してください。

LAN 中継同報の登録

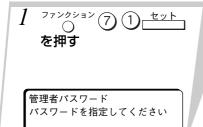
中継局の自局情報の登録

LAN 経由で受け付けた電子メールを、一般回線へ中継通信するのに必要な中継局の情報を登録します。
あらかじめ、システム登録の「142 LAN 中継機能」を“あり”に設定しておいてください。
(☞61 ページ)

- 中継用パスワード（受信した電子メールが中継同報指示であることを判定するために使用します。(☞63 ページ)）
- 管理者用メールアドレス（中継同報の指示を受け付けたことを電子メールで管理者に通知するために使用します。(☞58 ページ)）
- 中継許可用ドメイン名（中継同報の受け付けを許可するインターネットファクスや PC のドメイン名を登録します。(☞63 ページ)）

1 ファンクション ⑦ ① セット を押す

2 管理者パスワードを入力し、セット を押す

3 ∨ または ∧ を押して、「中継用パスワード」を表示させる

・中継用パスワードは (01) ～ (05) の 5 件まで登録が可能です。

```
中継用パスワード（01）

_
```

4 中継用パスワード（最大 10 文字）を入れる

・ワンタッチダイヤル と テンキー で最大 10 文字の英数字を入力できます。

```
中継用パスワード（01）

RELAY_
```

5 セット を押す

・通信ポートの登録をします。
例

```
中継通信モード／回線 設定：1

1．外線　　2．内線
```

6 通信ポートを選択して セット を押す

・手順 3 ～ 5 を繰り返して中継用パスワード（01）～（05）を登録してください。

```
中継用パスワード（02）

_
```

7 中継用パスワード（05）まで登録して セット を押す

8 管理者メールアドレス（最大 60 桁）を入れる

・ワンタッチダイヤル と テンキー で最大 60 桁の英数字を入力できます。

```
管理者メールアドレス

_
```

9 セット を押す

・次の登録項目に移ります。

10 中継許可用ドメイン名（最大 30 文字）を入れる

・ワンタッチダイヤル と テンキー で最大 30 文字の英数字を入力できます。
・手順 9 ～ 10 を繰り返してドメイン名（01）～（10）を登録してください。
・必要なドメイン名の入力が終了したら、手順 10 へ進んでください。

```
ドメイン名（01）

_
```

11 セット を押す

・ストップを押す前に∨∧を押すと、登録内容の確認ができます。

12 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- メールアドレスなどの入力をまちがえたときは、<>やクリアーを押して入れ直してください。
- 自局情報の登録を途中でやめるときは、ストップを押してください。
- 中継用パスワードは、外部からの不正利用を防ぐため、慎重な管理を行ってください。

ワンタッチダイヤルの登録

ワンタッチダイヤルに、「宛先の電話番号」と共に、中継局を登録しておくと、原稿をセットして ワンタッチダイヤル 、スタート を押すだけで中継同報の指定ができます。（☞59 ページ）

- 中継情報を登録したい時は、あらかじめシステム登録の「104 短縮ダイヤル情報」を“あり”に設定しておいてください。
- あらかじめシステム登録の「140 LAN 中継指示」を“あり”に設定しておいてください。

1 ファンクション ⑦ ② セット を押す

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録
```

2 ① を押す

```
ワンタッチダイヤルの登録
ボタン(１～５０、F1 ～ F10)
　　　　　　　を押してください
```

3 ワンタッチダイヤル（01 ～ 50、F1 ～ F10）を押す

・すでに登録されている内容がある場合、その番号が表示されます。
・まちがえたときや登録済みのボタンを押した場合は、∨ または ∧ を押し、ほかのワンタッチボタンを選べます。
・「アドレスを登録してください」と表示された場合は、F5 インターネット を押して切り替えてください。

例：「ワンタッチ：01」

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
ダイヤルを登録してください
_　　　　　　　　　　　外線
```

4 宛先のダイヤル番号（最大 52 桁）を入れる

・まちがえた場合は、< または > を押してカーソルを移動させて クリアー で消してから、入れ直します。

例

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
ダイヤルを登録してください
0334952973_　　　　　外線
```

5 セット を押す

・ダイヤル番号が登録されます。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
宛先名を登録してください
__
```

6 宛先名（最大 20 文字）を入れる

・宛先の名前を入れます。
（☞取扱説明書ファクス編を参照してください）
・宛先入力は「文字シート」を使ってください。
例

```
東京本社__
　入力モード：かな漢
■
```

7 セット を押す

・宛先名が登録されます。
・宛先名に登録した先頭の文字が、電話帳検索をするときの検索文字として表示されます。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
検索文字を入力してください
検索文字：と
```

8 検索文字を確認して セット を押す

・検索文字が登録されます。
・システム登録の「107 代行宛先通信」（☞取扱説明書ファクス編を参照してください）の設定が“あり”の場合、登録できます。

```
代行宛先を登録してください

短縮：__　　（３桁）
```

9 **代行宛先を入れて セット を押す**

特殊通信機能を登録しますか
1．はい　　2．いいえ

10 **①を押す**

中継情報を登録しますか
1．中継機　　2．中継機以外
3．ＬＡＮ中継　4．いいえ

11 **③を押す**

ＬＡＮ中継局の登録
宛先を指定してください

12 **メールアドレスが登録されている短縮、ワンタッチを指定し、セット を押す**

・まちがえたときは クリアー を押して、指定し直します。

ワンタッチダイヤル登録：０１
送信時Ａ３→Ｂ４縮小をしますか
1．しない　　2．する

13 **送信時の A3 原稿を B4 に縮小するか、しないかを設定する**

・①または②を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。（☞30 ページ）

ワンタッチダイヤル登録：０１
相手能力（400dpi）の登録
1．しない　　2．する

14 **送信時の画質設定を設定する**

・①または②を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。

ワンタッチダイヤル登録
ボタン(１～５０、F1 ～ F10)
を押してください

15

・システム登録の「172 ダイレクト SMTP」（☞115 ページ）の設定が“あり”の場合、ダイレクト SMTP 送信が登録できます。
・続けてワンタッチダイヤルの登録ができます。手順 3 からの操作をしてください。

16 **ストップ を押す**

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● ワンタッチダイヤルの登録を途中でやめるときは、ストップを押します。
● 手順 5 でダイヤル番号として登録できるのは、数字、＊、#、ポーズ（－）、トーン（／）、モニター（スペース）の最大 52 桁です。
● 手順 12 で指定するワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルには中継局に登録されている中継用パスワードが登録されているメールアドレスに含まれていなければなりません。（☞107 ページ）
● 他機種に 400dpi で送信した場合、正常に通信できないことがあります。
また、複数宛先を行った場合、400dpi の登録が「しない」で設定されている宛先が含まれていると、同報するすべての送信は 400dpi で送信されません。

短縮ダイヤルの登録

短縮ダイヤルに、「宛先の電話番号」と共に、中継局を登録しておくと、原稿をセットして［短縮］短縮番号 (000 ～ 999)、［スタート］を押すだけで中継同報の指定ができます。

- 中継情報を登録したい時は、あらかじめシステム登録の「104 短縮ダイヤル情報」を“あり”に設定しておいてください。
- あらかじめシステム登録の「140 LAN 中継指示」を“あり”に設定しておいてください。

1 ［ファンクション］⑦②［セット］を押す

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録
```

2 ②を押す

```
短縮ダイヤルの登録 設定数：0000
短縮番号を指定してください
短縮：__　　　（3桁）
```

3 短縮番号（000 ～ 999）を押す

- ・すでに登録されている内容がある場合、その番号が表示されます。
- ・まちがえたときや登録済みのボタンを押した場合は、ⅴまたはʌを押し、ほかの短縮ボタンを選べます。
- ・「アドレスを登録してください」と表示された場合は、［F5 インターネット］を押して切り替えてください。

例：「短縮：001」

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
ダイヤルを登録してください
_　　　　　　　　　　　　外線
```

4 宛先のダイヤル番号（最大 52 桁）を入れる

- ・まちがえた場合は、＜または＞を押してカーソルを移動させて［クリアー］で消してから、入れ直します。

例

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
ダイヤルを登録してください
0334919191_　　　　　外線
```

5 ［セット］を押す

- ・ダイヤル番号が登録されます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
宛先名を登録してください
__
```

6 宛先名（最大 20 文字）を入れる

- ・宛先の名前を入れます。（☞取扱説明書ファクス編を参照してください）
- ・宛先入力は「文字シート」を使ってください。

例

```
東京本社__
 入力モード：かな漢
■
```

7 ［セット］を押す

- ・宛先名が登録されます。
- ・宛先名に登録した先頭の文字が、電話帳検索をするときの検索文字として表示されます。

```
短縮ダイヤルの登録　短縮：001
検索文字を入力してください
検索文字：と
```

8 検索文字を確認して［セット］を押す

- ・検索文字が登録されます。
- ・システム登録の「107 代行宛先通信」（☞取扱説明書ファクス編を参照してください）の設定が“あり”の場合、登録できます。

```
代行宛先を登録してください

短縮：__　　（3桁）
```

9 代行宛先を入れて［セット］を押す

```
特殊通信機能を登録しますか

１．はい　　　２．いいえ
```

10 ①を押す

```
中継情報を登録しますか
１．中継機　　　２．中継機以外
３．ＬＡＮ中継　４．いいえ
```

11 ③を押す

```
ＬＡＮ中継局の登録
宛先を指定してください
```

12 メールアドレスが登録されている短縮、ワンタッチを指定し［セット］を押す

・まちがえたときは［クリアー］を押して、指定しなおします。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
送信時Ａ３→Ｂ４縮小をしますか
1．しない　　２．する
```

13 送信時のＡ3原稿をＢ4に縮小するかを設定する

・①または②を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。（☛30 ページ）

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
相手能力（400dpi）の登録
1．しない　　２．する
```

14 送信時の画質設定を設定する

・①または②を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。

```
短縮ダイヤルの登録 設定数:0001
短縮番号を指定してください
短縮：__　　（３桁）
```

15

・システム登録の「172 ダイレクト SMTP」（☛115 ページ）の設定が“あり”の場合、ダイレクト SMTP 送信が登録できます。
・続けて短縮ダイヤルの登録ができます。手順 3 からの操作をしてください。

16 を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

● 短縮ダイヤルの登録を途中でやめるときは、［ストップ］を押します。
● 手順 5 でダイヤル番号として登録できるのは、数字、＊、#、ポーズ（－）、トーン（／）、モニター（スペース）の最大 52 桁です。
● 手順 12 で指定するワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルには、中継局に登録されている中継用パスワードが登録されているメールアドレスに含まれていなければなりません。（☛107 ページ）
● 他機種に 400dpi で送信した場合、正常に通信できないことがあります。
また、複数宛先を行った場合、400dpi の登録が「しない」で設定されている宛先が含まれていると、同報するすべての送信は 400dpi で送信されません。

中継局の登録

ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに、中継局を登録しておくと、ワンタッチダイヤル（または短縮ダイヤル）で宛先を指定した後、(スタート)を押すだけで中継同報の指示ができます。

● 同報機能を持った中継局を、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録します。
● 中継局はメールアドレスが登録された宛先のみです。

1 ファンクション ⑦ ② セット を押す

```
ダイヤルの登録
1．ワンタッチダイヤルの登録
2．短縮ダイヤルの登録
```

2 ②を押す

```
短縮ダイヤルの登録 設定数：0000
短縮番号を指定してください
短縮：＿　　　（３桁）
```

3 短縮番号（000 ～ 999）を押す

・すでに登録されている内容がある場合、その番号が表示されます。
・まちがえたときや登録済みのボタンを押した場合は、Ⓥまたは⋀を押し、ほかの短縮ボタンを選べます。
・「ダイヤルを登録してください」と表示された場合は、F5 インターネット を押して切り替えてください。

例：「短縮 001」に中継局を登録する

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
アドレスを登録してください
_　　　　　　　　　インターネット
```

4 宛先のメールアドレス（最大 60 桁）を入れる

・中継局に登録されている中継用パスワードを含むメールアドレスを登録します。
・まちがえた場合は、＜または＞を押してカーソルを移動させて クリアー で消してから、入れ直します。

例

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
アドレスを登録してください
RELAYG3@FAX.com_ インターネット
```

5 セット を押す

・メールアドレスが登録されます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
宛先名を登録してください
＿
```

6 宛先名（最大 20 文字）を入れる

・宛先の名前を入れます。（☛取扱説明書ファクス編を参照してください）
・宛先入力は「文字シート」を使ってください。

例

```
名古屋支店＿
　入力モード：かな漢
■
```

7 セット を押す

・宛先名が登録されます。
・宛先名に登録した先頭の文字が、電話帳検索をするときの検索文字として表示されます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
検索文字を入力してください
検索文字：な
```

8 検索文字を確認して［セット］を押す

・検索文字が登録されます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
サブアドレスを登録してください
_
```

9 サブアドレスを登録して［セット］を押す

・サブアドレスが登録されます。
・システム登録の「152 SUB ルーティング」（☞114 ページ）の設定が“あり”の場合、登録できます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
数字ＩＤを登録してください
_
```

10 数字IDを登録して［セット］を押す

・数字IDが登録されます。
・システム登録の「153 数字ID ルーティング」（☞114 ページ）の設定が“あり”の場合、登録できます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
送信時Ａ３→Ｂ４縮小をしますか
1．しない　　２．する
```

11 送信時のA3原稿をB4に縮小するかを設定する

・①または②を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。（☞30 ページ）

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
相手能力（４００dpi）の登録
1．しない　　２．する
```

12 送信時の画質を設定する

・①または②を押します。
・相手機の能力に合わせて設定します。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮 :001
ダイレクト SMTP 登録しますか
1．しない　　２．する
```

13 ダイレクト SMTP 送信を設定する

・①または②を押します。
・システム登録の「172 ダイレクト SMTP 送信」（☞115 ページ）の設定が“あり”の場合、登録できます。

```
短縮ダイヤルの登録 設定数：0001
短縮番号を指定してください
短縮：__　　（３桁）
```

14 続けて短縮ダイヤルの登録ができます。手順 3 からの操作をします。

15 ［ストップ］を押す

お知らせ

- 登録を途中でやめるときは［ストップ］を押してください。
- 宛先名の先頭に50音以外の文字を登録した時は、電話帳検索するときの検索文字に登録されません。手順8で［セット］を押す前に、ワンタッチダイヤルF1(あ) ～ F10(こ)、01(さ) ～ 38(ん) を使って検索文字を登録してください。
- 他機種に 400dpi で送信した場合、正常に通信できないことがあります。また、複数宛先を行った場合、400dpi の登録が「しない」で設定されている宛先が含まれていると、同報するすべての送信は 400dpi で送信されません。

ルーティングの登録

ルーティング通信で転送する宛先をワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに登録する際に、ルーティングするための条件（G3送信機からの数字IDやサブアドレス等）を登録します。
ファクス通信時の送信側から送られてきたサブアドレス、数字ID、発番号、モデムダイヤルインのいずれかが本機のワンタッチダイヤル等に登録されているルーティングの条件と一致した場合に、そのワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの宛先に転送します。あらかじめシステム登録の「152 SUBルーティング」、「153 数字ID ルーティング」、「175 発番号 ルーティング」、「176 ダイヤルインルーティング」のいずれかで、利用できる項目を“あり”に設定しておいてください。（☛49 ページ、114 ページ、115 ページ）

ワンタッチダイヤルの登録

1 「ダイヤルの登録」の「ワンタッチダイヤルの登録」の手順 8 までの操作を行う（☛72 ページ）

・あらかじめシステム登録の「152 SUBルーティング」、「153 数字ID ルーティング」、「175 発番号 ルーティング」、「176 ダイヤルイン ルーティング」のいずれか、利用できる項目を“あり”に設定しておくと次の表示がされます。

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
サブアドレスを登録してください
_
```

2 サブアドレス（最大 20 桁）を登録する

例：「1234567」

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
サブアドレスを登録してください
1234567_
```

3 [セット] を押す

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
数字ＩＤを登録してください
_
```

4 数字ID（最大20桁）を登録する

例：「1111111」

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
数字ＩＤを登録してください
1111111_
```

5 [セット] を押す

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
発番号を登録してください
_
```

6 発番号（最大 20 桁）を入力する

例：「111111」

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
発番号を登録してください
111111_
```

7 [セット] を押す

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
モデムダイヤルイン番号
∨、∧を入力してください
```

8 モデムダイヤルイン番号を入力する

・ⓥまたはⓐを押して、モデムダイヤルイン番号を選びます。（☛50 ページ）

```
ワンタッチダイヤル登録：０１
モデムダイヤルイン番号
02　0387654321
```

9 [セット] を押す

・次の設定を続けて行います。

お知らせ

- ワンタッチダイヤルの登録を途中でやめるときは、(ストップ)を押してください。
- 数字IDによるルーティングを行うときは、送信側のファクスに登録されている数字IDと同一内容の数字を、ワンタッチダイヤルの転送用相手数字IDに登録してください。ただし、スペース、“+”など数字以外は削除して比較します。
- システム登録の「152 SUB ルーティング」が“なし”に設定されている場合、手順３の画面から始まります。
- システム登録の「153 数字ID ルーティング」が“なし”に設定されている場合、手順3で[セット]を押すと手順5の画面に進みます。
- システム登録の「175 発番号ルーティング」が“なし”に設定されている場合、手順５で[セット]を押すと手順７の画面に進みます。
- システム登録の「176 ダイヤルインルーティング」が“なし”に設定されている場合、手順７で[セット]を押すと手順９に進みます。

短縮ダイヤルの登録

1 「ダイヤルの登録」の「短縮ダイヤルの登録」の手順 8 までの操作を行う（☞74 ページ）

（☞74 ページ）

・あらかじめシステム登録の「152 SUBルーティング」、「153 数字ID ルーティング」、「175 発番号 ルーティング」、「176 ダイヤルイン ルーティング」を“あり”に設定しておくと次の表示がされます。

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
サブアドレスを登録してください
_
```

2 サブアドレス（最大 20 桁）を登録する

例：「7654321」

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
サブアドレスを登録してください
7654321_
```

3 [セット] を押す

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
数字ＩＤを登録してください
_
```

4 数字ID（最大20桁）を登録する

例：「2222222」

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
数字ＩＤを登録してください
2222222_
```

5 [セット] を押す

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
発番号を登録してください
_
```

6 発番号（最大 20 桁）を入力する

例：「2222222」

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
発番号を登録してください
2222222_
```

7 [セット] を押す

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
モデムダイヤルイン番号
∨、∧を入力してください
```

8 モデムダイヤルイン番号を入力する

・(∨)または(∧)を押して、モデムダイヤルイン番号を選びます。

例

```
短縮ダイヤルの登録　　短縮:001
モデムダイヤルイン番号
01　0312345678
```

9 [セット] を押す

・次の設定を続けて行います。

お知らせ

- 短縮ダイヤルの登録を途中でやめるときは、（ストップ）を押してください。
- 数字IDによるルーティングを行うときは、送信側のファクスに登録されている数字IDと同一内容の数字を、短縮ダイヤルの転送用相手数字IDに登録してください。ただし、スペース、“＋”など数字以外は削除して比較します。
- システム登録の「152 SUB ルーティング」が“なし”に設定されている場合、手順 3 の画面から始まります。
- システム登録の「153 数字ID ルーティング」が“なし”に設定されている場合、手順3で セット を押すと手順5の画面に進みます。
- システム登録の「 175 発番号 ルーティング」が“なし”に設定されている場合、手順 5 で セット を押すと手順 7 の画面に進みます。
- システム登録の「176 ダイヤルイン ルーティング」が“なし”に設定されている場合、手順 7 で セット を押すと手順 9 に進みます。

システムの登録

システム登録のしかた

1 ファンクション ○ ⑦ を押す

```
登録モード　　　　　　（1－7）
番号入力またはV、Λ
を入力してください
```

2 ④ セット を押す

```
管理者パスワード
パスワードを指定してください
_
```

3 管理者パスワードを入力し、セット を押す

```
システムの登録　(001-176)
　No.　=＿　　　　(３桁)
```

4 設定する番号（3桁）を入れ、セット を押す

例：「003」

```
003 ハーフトーン　　設定：1
1．なし
2．きれい　　3．はやい
```

・「システム登録一覧表」（☛取扱説明書ファクス編および 114 ページ）を参照して、設定番号を選択します。

・設定番号をまちがえたときは、クリアー を押して、指定し直します。

5 設定値を選ぶ

・「システム登録一覧表」（☛取扱説明書ファクス編および 114 ページ）を参照して、設定値を選択します。

```
003 ハーフトーン　　設定：1
1．なし
2．きれい　　3．はやい
```

6 セット を押す

・続けて、表示されている項目の設定ができます。手順4からの操作を繰り返します。

```
004 済みスタンプ　　設定：2

1．なし　　　2．あり
```

7 ストップ を押す

・待機状態に戻ります。

お知らせ

- システム登録を途中でやめるときは、ストップ を押します。
- 手順4の画面を表示しているとき、V Λ を押すと、ほかの設定項目が選べます。

システム登録一覧表

本インターネット ＦＡＸ ユニットを設置したときに「システム登録」へ次の項目が追加されます。
お買い上げ時は、下線の位置に設定されています。

設定番号	設定項目	設定値	説明
140	LAN 中継指示	1：なし 2：あり	“あり”にすると、LAN 経由の中継送信の指示を行います。
141	LAN 縮小送信	1：なし 2：あり	“あり”にすると、LAN 経由にて送信するときにA4 サイズに縮小されて送信します。
142	LAN 中継機能	1：なし 2：あり	“なし”にすると、LAN 中継動作を行いません。
143	LAN 中継結果返送	1：なし 2：全通信 3：異常時	LAN 中継の結果を指示元に返送するときの条件を選びます。
145	FROM 選択機能	1：なし 2：あり	発信元やメールの From 欄の内容を選べるようにするときに、“あり”にします。24 個のユーザー名称（最大 20 文字）とメールアドレス（最大60 桁）を登録できます。
146	POP 取得間隔	03 分 （0 ～ 60[分]）	POP サーバーへメールの到着の確認をする間隔を設定します。
147	POP 自動受信	1：なし 2：あり	“なし”にすると、POP 取得時、自動受信しません。
148	POP 受信後削除	1：なし 2：あり	“なし”にすると、POP 受信後メール削除しません。
149	POP エラー時削除	1：なし 2：あり	“あり”にすると、POP サーバーに受信できないメールが来たときにこのメールを削除します。
150	送達確認	1：なし 2：あり	LAN 受信時の結果を送信元に返送するとき設定します。
151	メールヘッダー表示	1：なし 2：全て 3：編集	メールを受信したときにプリントするヘッダーの内容を設定します。
152	SUB ルーティング	1：なし 2：あり	サブアドレスによるルーティングを行うときに“あり”にします。
153	数字IDルーティング	1：なし 2：あり	数字IDによるルーティングを行うときに“あり”にします。
154	ルーティング時FROM	1：中継局 2：指示局	ルーティングにより、LAN へメールを送るときの From 欄の内容を選びます。
155	ルーティング時出力	1：異常時 2：全通信	ルーティング時に、受信した原稿を自局でプリントする設定を選びます。
157	管理レポート送信	1：なし 2：あり	“あり”にすると、管理レポートを登録された宛先へ送信します。
158	メールリモート登録	1：なし 2：あり	メールによる PC から短縮登録を行うとき“あり”にします。
160	ドメイン名設定	1：なし 2：あり	直接ダイヤルで送るとき、ドメイン名を入れて送信するとき“あり”にします。
161	DNS 設定	1：なし 2：あり	インターネット通信を行うときに DNS サーバーを使うときは“あり”にします。
163	ルーティングヘッダ	1：なし 2：あり	ルーティング時に、ルート局のヘッダー情報を付けるときに“あり”にします。
165	スキャナ解像度	1：細密 2：小さい	ネットワークスキャナーとしての解像度を設定します。
168	CC/BCC 宛先	1：なし 2：あり	CC/BCC 宛先指定の設定をします。
170	SMTP 認証	1：なし 2：あり	SMTP 認証の設定をします。 “あり”に設定した場合は、自局情報で SMTP 認証名、SMTP 認証パスワードが登録できます。

設定番号	設定項目	設定値	説明
172	ダイレクト SMTP 送信	1：なし 2：あり	ダイレクト SMTP の設定を有効にします。
175	発番号ルーティング	1：なし 2：あり	発信者番号によるルーティングをする場合に“あり”に設定します。送信側ファクスから送られてくる発信者番号で、本機に登録されている宛先にルーティングすることが可能です。 本項目を利用する場合は、システム登録の「090 発番号契約」を“あり”に設定する必要があります。
176	ダイヤルインルーティング	1：なし 2：あり	モデムダイヤルインサービスをご利用されている場合に“あり”に設定します。モデムダイヤルインサービスで登録されている電話番号で、本機に登録されている宛先にルーティングすることが可能です。

お知らせ

- 本インターネット ＦＡＸ ユニットを設置したときは、システム登録の「034 省エネモード」の「省エネ」を設定しても「省エネ」に移行せず「節電」になります。
- システム登録の「176 ダイヤルインルーティング」は、オプションの増設通信ユニットを装着している場合、初めに各チャンネルの選択画面が表示されます。必要なチャンネルを選択して設定してください。

主なエラーコード

インターネット通信の際に、通信できなかったときなどに、通信管理レポートにエラーコードが表示されます。エラーコードが表示されたときは、次の表に従って処置してください。
他のエラーコードは、取扱説明書ファクス編を参照してください。

エラーコード	原因	処置	参照ページ
0712	電子メールアドレスの誤り	登録された電子メールアドレスを確認してください。SMTP サーバーの IP アドレスをネットワーク管理者にお問い合わせください。	ー
0713	LAN インタフェースのメモリーオーバフロー	ページあたりの文書データが 3.2MB を超えているため、送れません。	ー
0714	LAN にログオンできない	10BASE-T/100BASE-TX ケーブルの接続を確認してください。予期できない問題が発生していますので、ネットワーク管理者にお問い合わせください。	ー
0715	TCP/IP 接続のタイムアウト	インターネットファクスのパラメーター設定値を確認してください。IP アドレス、ルーター IP アドレスの初期値、SMTP サーバー IP アドレスを確認してください。	ー
0716	指定した SMTP サーバーにログインできない	SMTP サーバー IP アドレス設定値を確認してください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	ー
0717	SMTP プロトコル伝送が不完全。SMTP サーバーのハードディスクがいっぱいの可能性	SMTP サーバーに障害があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	ー
0718	プリントデータ受信時のプリントメモリーオーバフロー。給紙カセットの用紙サイズよりも大きいサイズをアプリケーションで選択した	原稿サイズと解像度を確認してください。受信側で対応しているサイズと解像度で再送信してもらうように送信側に連絡してください。	ー
0719	LAN で受信したデータ形式が受信側に対応していない	対応するファイル添付形式で再送してもらうように送信側に連絡してください。TIFF-F 形式を確認してください。	ー
0725	・DNS サーバー接続のタイムアウト ・DNS サーバーのダウン	DNS サーバー IP アドレスを確認してください。ネットワーク管理者にご連絡ください。	ー
0726	DNS サーバーからエラー応答を受信	POPサーバー名を確認してください。SMTP サーバー名を確認してください。	ー
0728	ダイレクト SMTP を使用した送信でエラーが発生した	相手先の設定を確認願います。	ー
0730	PC によるリモート設定ができない	システム登録「158 メールリモート登録」が「2：あり」に設定されていることを確認してください。 自局情報の登録「リモートパスワード」のパスワードが正しく登録されていることを確認してください。	114 ページ 66 ページ
0731	LAN 中継受信時に管理領域がいっぱい	現在の通信が終了後、LAN 中継指示を再送するように送信元に連絡してください。	ー

お知らせ

- 上記以外のエラーコードが表示された場合は、もう一度通信してみてください。
- 処置をしてもエラーコードが表示される場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

主なエラーメッセージ

通信エラーになったときは、ディスプレーにエラー内容を表すメッセージが表示されます。
（他のエラーメッセージは、取扱説明書ファクス編を参照してください）

エラーメッセージ	内容	処置	参照ページ
LAN ボードを確認してください	LAN との接続ができない	LAN ユニットを確認してください。	―
通信エラーがありました	・メールアドレスが存在しない ・メモリーがいっぱいになった ・LAN との接続ができない ・端末サポートの TIFF 添付ファイルを受信した	・メールアドレスの登録内容を再確認してください。 ・1 ページあたりの情報量が多すぎて送信できません。 ・ネットワーク管理者にご相談ください。 ・相手に確認してください。	72 ページ 74 ページ
POP サーバーに接続できません	POP サーバーと接続できない	・POP サーバー IP アドレスまたは POP ユーザー名とパスワードを確認してください。 ・ネットワーク管理者にご相談ください。	66 ページ
DNS サーバーに接続できません	DNS サーバーと接続できない	・DNS サーバー IP アドレスを確認してください。 ・POP サーバー名を確認してください。 ・ネットワーク管理者にご相談ください。	66 ページ

お知らせ

● 上記処置をしてもエラーメッセージが表示される場合は、LINK ランプ（☞18 ページ）が点灯しているか確認してください。消灯している場合は LAN ケーブルを点検してください。それでもわからない場合は、お買い上げの販売店または、サービス実施会社にお問い合わせください。

リモート登録時のエラーメッセージ

■エラーメッセージを送付先へ送る

ワンタッチ／短縮ダイヤルのリモート登録時にエラーとなった場合に、本機より電子メールで PC へエラーメッセージが送付されます。

	エラーメッセージ	内容と処置
1	554 Data transfer error (broken header)	ヘッダーまたはサブヘッダーの解析中にエラーになって処理できませんでした。再送してください。
2	554 Data transfer error (broken data)	データ解析中にエラーになって処理できませんでした。再送してください。
3	554 Data transfer error (FAX module)	データ処理中に内部エラーが発生して処理できませんでした。再送してください。
4	554 MIME attachment not supported (message/file)	サポートしていない MIME の添付ファイルが送られました。テキストデータだけの添付ファイルで再送してください。
5	554 MIME format not supported	サポートしていない MIME タイプが送られました。テキストデータだけで再送してください。
6	554 FAX relay permission denied	中継要求のあったドメイン名は登録されていません。確認して再送してください。
7	554 Relay address unknown	中継要求のあった電話番号は宛先不明です。確認して再送してください。
8	554 Memory fully (FAX module)	FAX メモリーがいっぱいです。あとで再送してください。
9	554 Data transfer error	リスト上にないエラーです。あとで再送してください。

■リモート登録失敗時のエラーメッセージ

ワンタッチ／短縮ダイヤルのリモート登録が失敗したときに、エラーメッセージがプリントされます。

	エラーメッセージ	内容と処置
1	@list ブロックにエラーがあります	ブロック終了コマンド「@end」が「@list」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
2	@command ブロックにエラーがあります	ブロック終了コマンド「@end」が「@command」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて、再送してください。
3	@begin コマンドがありません	ブロック開始コマンド「@begin」が「@begin」ブロックで記述されていません。「@begin」コマンドを加えて再送してください。
4	@begin ブロックにエラーがあります	ブロック終了コマンド「@end」が「@begin」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
5	@system ブロックにエラーがあります	ブロック終了コマンド「@end」が「@system」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
6	@sender ブロックにエラーがあります	ブロック終了コマンド「@end」が「@sender」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。

7	@domain ブロックにエラーがあります	ブロック終了コマンド「@end」が「@domain」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
8	@relay ブロックにエラーがあります	ブロック終了コマンド「@end」が「@relay」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
9	@program ブロックにエラーがあります	ブロック終了コマンド「@end」が「@program」ブロックで記述されていません。「@end」コマンドを加えて再送してください。
10	@system コマンドがありません	システム開始コマンド「@system」が「@system」ブロックで記述されていません。「@system」コマンドを加えて再送してください。
11	ＦＡＸ メモリー転送が設定されているためリモート登録できません	システム登録の「054 メモリー転送」の設定を“なし”に変えて再送してください。
12	ＦＡＸ 動作中のためリモート登録できません	ファクス動作終了後、再送してください。
13	以下のデータに上書きされました	登録済のデータに上書きされました。
14	リモート登録パスワードチェックエラー	パスワードを修正して再送してください。
15	リモート登録が許可されていません	メールリモート登録が許可されていません。システム登録の「158 メールリモート登録」の設定を“あり”に変えて再送してください。
16	Format Error:	各発信者選択用の記述データが一行で完結していないため、フォーマットが不完全となっています。一行で記述してください。
17	Warning:	入力されたフォーマットが正しくない、または文字数が最大桁数を超えています。修正して再送してください。
18	データが長すぎます	宛先名の文字数が最大桁数を越えています。修正して再送してください。

主な仕様

外観・仕様などは改良のため予告なしに変更することがあります。

品　番	ＵＥ － 404095（UF - A700 ／ A800）
インターネット FAX	
適合回線	10BASE - T ／ 100BASE - T X port : RJ - 45
通信プロトコル	TCP/IP、SMTP、POP3、MIME
データ形式	TIFF - FX プロファイル S、MMR（400 dpi のみ）
送信原稿サイズ	A3 ～ A6
有効読取り幅	最大 292 mm（A3）
記録紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5
出力可能文字	JIS 第 1・第 2 水準
適合規格	IETF RFC3949、ITU - T T. 37
ネットワークスキャナー	
送信原稿サイズ	A3 ～ A6
有効読取り幅	最大 292 mm（A3）
読み込み速度	1 秒（A4、文字サイズ : ふつう）　:　UF - A800 1 . 9 秒（A4、文字サイズ : ふつう）　:　UF - A700
解像度	400 dpi　:　UF - A800 400 dpi 相当　:　UF - A700
ネットワークプリンター	
記録紙サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、ハガキ（手差し）
記録速度	16 PPM　:　UF - A700 ／ A800
解像度	600 dpi（A4、B5、A5、ハガキ）／ 300 dpi
対応 ＯＳ	Windows® 2000 (Service Pack 4 以降) Windows® XP (Service Pack 2 以降) (32 bit/64 bit) Windows Server® 2003/2003 R2　(32 bit/64 bit) Windows Vista® (32 bit/64 bit) Windows Server® 2008/2008 R2 (32 bit/64 bit) Windows® 7 (32 bit/64 bit)

その他の仕様については取扱説明書ファクス編をご覧ください。

用語の説明

用　　語	解　　説
10BASE-T/100BASE-TX	イーサーネット LAN システムの一種で、10/100Mbps での通信が可能です。“T" はツイストケーブルの意味で 2 本のケーブルをより対線としています。
DNS (Domain Name Server)	WWW や E- メールなど、アプリケーション間の通信時に、IP アドレス（例「123.456.7.891」）とドメイン名（例「www.mgcs.nyc.com」）との間の変換（読み替え）を自動的に行うプログラムです。コンピューターが実際に扱う数字列である IP アドレスと、ユーザー（人間）が認識しやすい名前などの文字列とを変換するためのシステムです。多くの場合、DNS サーバーと呼ばれる専用のコンピューター上で実行されます。
IP アドレス	インターネット上の装置やホストを特定するために割り当てられるアドレス番号で、32 ビットのアドレスフィールドを使用します。
ISP (Internet Service Provider)	インターネットへの接続をユーザーに提供する組織です。ほとんどの ISP は営利団体です。
LAN (Local Area Network)	オフィス、工場、大学構内等の、限定された地域で、複数のコンピュータやプリンターなどを接続し、情報の共有化や、情報交換を行うネットワークです。
MAC アドレス	ハードウェアアドレスで、MAC（Media Access Control）アドレスとして装置に割り当てられています。MAC アドレスは設定不可能となっています。MAC アドレスはコロンで分割された 6 つの 16 進数で構成されています。 例：「00:00:c0:34:f1:50」
MIME (Multipurpose Internet Mail Extention)	インターネット上で、テキストデータ以外のマルチメディア情報も扱えるように拡張した、電子メールの通信手順です。
POP (Post Office Protocol)	メールサーバーにアクセスして自分宛のメールを取り出すための通信手順です。
SMTP (Simple Mail Transfer Protocol)	電子メールを送受信するための TCP/IP による通信手順です。
TCP/IP (Transmission Control Protocol/ Internet Protocol)	インターネットで使用されているプロトコルの最も基本的な集合体（プロトコルスイート）であり、あるインターネット端末と別の端末との間のデータ転送を可能にします。
TIFF (Tagged Image File Format)	異機種間でのグラフィックデータの交換ができるようデータの前のタグと呼ばれる部分を設け、データの記述形式を記載したデータファイルです。 本製品の TIFF ファイルは、MH 方式によりデータを圧縮しています。
TIFF ビューアー	TIFF ファイルの中身を閲覧するための機能を持ったプログラムです。市販の TIFF ビューアーでは、本製品から送られた TIFF ファイルを表示できない場合があります。（☞43 ページ）
イーサーネット	LAN に利用されているコンピューターネットワークの一般的な方式です。
インターネット	全世界の政府系組織、教育組織、商業用組織、非営利組織、民間組織に設置された何百万台ものコンピュータを TCP/IP プロトコルで接続した、相互アクセス可能なネットワークです。利用可能なアプリケーションには WWW, E- メール、FTP、ニュースグループなどがあります。

用　　語	解　　説
クライアント	クライアント (端末) コンピューターの意味で、LAN 上でデータベース共用、グループ作業や通信を行うときに使用します。
サーバー	クライアント（端末）コンピューターに対してデータ資源、通信接続、データ保存空間その他のサービスを提供する、ネットワークに接続されたコンピューターまたは装置を指します。メールサーバーソフトウェアはネットワーククライアントがメールアカウントを保有してメールの送受信を行うことを可能にしています。
サブネットマスク	サブネットを認識するためのマスクビットです。通信時にルーターを介すか、介さないかの判定に使用します。
デフォルトルーター IP アドレス	他のネットワークと通信する際に経由するルーターのアドレスです。
ドメイン名	インターネットに接続された個々のコンピュータを一意に識別する名称です。ドメイン名は DNS サーバーによって IP アドレスから翻訳されます。これは、IP アドレスが変更された場合でも、ユーザーに親しみやすい（記憶されやすい）名称を保持することが目的です。
ネットワーク	2 台あるいはもっと多くのコンピュータを結び、いつでもリソースを共有することができるようにすることが、コンピューター・ネットワークです。
プロトコル	装置間通信のための標準または言語。業界には多くの種類のプロトコルが存在し、IC やコンピューターを内蔵している製品はどれもある種のプロトコルを利用しています。インターネットでは、100 を越える標準が共同して TCP/IP プロトコルを構成し、インターネット通信を滑らかで信頼できるものにしています。
ホームページ	WWW サーバー上にアクセスした際、最初に表示されるページです。または WWW サーバー上に設けられたページそのものを指します。
メーリングリスト	あるアドレスに対して電子メールを送り、自動的に複数の人に電子メールのコピーを送るための、メールアドレスのリストです。
メールアドレス	電子メールを送受信するための宛先です。ユーザー名、サブドメイン名、ドメイン名で構成されます。
メールサーバー IP アドレス	メールサーバーのアドレスです。本製品は、あらかじめ設定されたメールサーバーとだけ通信を行います。
ルーター	複数の LAN 間の通信を可能にするネットワーク装置です。インターネットでは、それぞれの LAN のルーターが、インターネットを経由して転送すべきデータの経路を管理しています。
管理者用メールアドレス（管理者宛メール）	中継局を管理する担当者のメールアドレスです。インターネットファクス（または PC）から、中継同報が指示されるごとに、管理者宛に、電子メールで通知します。
送達通知メール	中継同報通信が終了したら、通信の結果を、中継同報を指示したインターネットファクス（または PC）へ電子メールで通知します。（☛64 ページ）

用　　語	解　　説
中継許可用ドメイン名	中継通信を指定できる端末であることの確認に用いるドメイン名です。中継通信を指定したインターネットファクス（または PC）を表すメールアドレスのドメイン名（@の右側）の部分と比較して、一致した場合に中継通信を行います。
中継局	受信した原稿を複数のファクスへ同報送信する機能を持った端末を表します。
中継用パスワード	中継通信を行う際に、パスワードとして用いるメールアドレスです。中継通信の宛先を表すメールアドレスの、ユーザー名（@の左側）の部分と比較して、一致した場合に中継通信を行います。

索引

◆め

◆よ

◆り

◆る

◆わ

■使いかた･お手入れ･修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 0120-878-410（パナハ ヨイワ）　受付：9時～17時30分　（土・日・祝祭日は受付のみ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

・パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番　UE-404095
販売店名	電話（　　　）　　-	
サービス実施会社名	電話（　　　）　　-	

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号

X0811-1023(01)
PNQX5063ZB
February 2013
Published in Japan